

令和3年度使用

中学校教科用図書 の 選定に必要な資料

出雲採択地区教科用図書採択協議会

※ 各発行者記号は、以下のとおりである。

記号	発行者名	記号	発行者名
A	東京書籍	L	新興出版社啓林館
B	大日本図書	M	山川出版社
C	教育図書	N	教研出版
D	開隆堂出版	O	日本文教出版
E	学校図書	P	学研教育みらい
F	三省堂	Q	自由社
G	教育出版	R	育鵬社
H	教育芸術社	S	学び舎
I	光村図書出版	T	廣済堂あかつき
J	帝国書院	U	日本教科書
K	大修館書店		

選 定 に 必 要 な 資 料

【 国語 】 1 / 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
A	<p>○「本編」には、思考力等を養うのに適した多彩な教材が精選されている。「基礎編」には学習を深める言葉の力の重点が系統的に示され、「資料編」では、学習を深めたり広げたりする資料が充実している。</p> <p>○巻頭・巻末に、教材と学習事項、言葉の力等の関連が一覧で示され、見通しやつながりを意識した学習ができるよう工夫されている。</p>	<p>○防災、国際理解、環境、情報等の今日的課題をテーマとした教材を採録するとともに、古典や伝統文化に関する教材を豊富な資料と併せて採録し、社会の課題や生き方について論理的・多面的に考えられるよう工夫されている。</p> <p>○本編の「学びの扉」の内容を基礎編の「学びを支える言葉の力」で深め、他の学習に活用できるよう工夫されている。</p>	<p>○漫画による「学びの扉」、美しい写真や絵図、物語仕立ての「日本語探検」等により、学びへの興味・関心が高まるよう随所で工夫されている。</p> <p>○1年古典の導入で「浦島太郎」を取り上げて昔話と比較したり、「伊曾保物語」でギリシャの寓話集との関連を示したりするなど、古典学習への興味を引き出すために効果的な工夫がされている。</p>	<p>○「私のタンポポ研究」「観察・分析して論じよう」等、文章と図表を関連づけて読んだり書いたりする学習により、論理的思考力を育成するよう工夫されている。</p> <p>○361冊の多彩な読書案内や読書活動が示され豊かな読書生活を支える工夫がされている。</p> <p>○思考ツールを使った学習等、メディアリテラシーや情報活用能力を育成する工夫がある。</p>	<p>○「つながる・広がる」で、学習事項と生活場面とのつながりを示したり、リンクマークを使って書写・他教科との関連を示したりする等、生きて働く言語能力の育成に資する工夫がある。</p> <p>○「広がる言葉」「言葉を広げよう」では、教材と関連させつつ多くの語彙を掲載し、思考や表現の幅を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにできるよう工夫されている。</p>	<p>○Dマークコンテンツによって朗読・映像資料、練習問題等が利用でき、家庭学習において主体的に学べるよう工夫されている。</p> <p>○オリジナルキャラクターを登場させ、生徒と同じ目線で問いかけや対話をする事で生徒の気づきを促し、意欲的に学べるよう工夫されている。</p>	<p>○学習を「目標・問いかけ」「言葉の力」「振り返り」という統一した流れで構成するとともに、話し合う活動を多く設けることで主体的対話的で深い学びができるよう工夫されており、特に優れた教科書である。</p> <p>○豊かな情操を育む作品や写真、生徒の学習意欲を高める工夫等が随所に施されており、特に優れた教科書である。</p>
F	<p>○本編と資料編の2部構成からなる。資料編では実社会で生きる実践的な知識・技能や自学自習に役立つ教材が分かりやすくまとめてある。また、「思考の方法」がまとめて配され、自己の考えの形成を促す工夫がされている。</p> <p>○本編では単元毎に「学びの道しるべ」で学習の流れを示し、生徒が主体的に学びを広げていけるよう工夫されている。</p>	<p>○「読む」領域では各教材に「読み方を学ぼう」を配し、3年間で22の読み方スキルを身につけ活用できるよう、分りやすく図解している。</p> <p>○社会性や現代性のあたる題材、身近な課題や未来の課題を扱った題材、古典的価値や話題性のある題材がバランスよく配置され、学習を通して多様なものの見方、考え方ができるよう工夫されている。</p>	<p>○古典では絵写真や年表等を効果的に配し、本文とともに古典の世界に親しめる工夫がある。</p> <p>○「表現プラザ」では、生活から題材を選び、古典等の手法を踏まえて楽しく表現の工夫ができるようにしている。</p> <p>○「歌の言葉」「私の読書体験」を設け、有名人の作品や体験談等を通して言葉や読書への興味・関心を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○多様な情報を関連づけながら現代の課題について考えをまとめる単元を設定し、3年間を通じて系統的に情報活用能力や自分の考えを形成する力を育成できるよう工夫されている。</p> <p>○1年「古事記」、3年「能・狂言」の古典教材は出雲神話や本県の神楽文化に通じており、郷土愛や伝統的な言語及び文化を継承する態度の育成につながられる。</p>	<p>○防災や地域の魅力等の実生活に係る課題について、図やデータ等の複数情報を関連づけて考えを表現する学習が多様に設定されている。</p> <p>○資料編に、情報検索の方法や著作権等の情報活用に係る事柄、メモや話し合いの仕方、辞書の使い方や実用文書の書き方等をまとめて図示し、他教科や社会生活でも活用できるよう工夫されている。</p>	<p>○巻末に「学習用語辞典」を置いて国語学習に役立つ用語をまとめ、中高を通じた国語学習で生かせるよう工夫されている。</p> <p>○読書案内や古典等に二次元コードを配して資料を提供することで、理解を広げたり、自主的に学んだりできるよう工夫されている。</p>	<p>○実生活に生きる言葉の力を育成するため、「学びの道しるべ」を始め、読み方や考え方、情報の扱い方、語彙等の学習を効果的に配し、生徒が意欲的主体的に学べるよう工夫されている。</p> <p>○学習活動と各種の学び方スキルの関連を示し、既習事項を振り返ったり、資料編を確認したりしながら学習できるよう工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 国語 】 2 / 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
G	<p>○各学年の「言葉の地図」では、教科書の構成、学習内容と付けたい言葉の力や言語活動例等が一覧で示され、見通しをもって学習できるよう工夫されている。</p> <p>○持続可能な開発目標（SDGs）と関連づけて各単元を構成し、多様な視点から社会や世界の課題、主体的な生き方について考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○各学年に「学びのチャレンジ」として応用問題を設け、目的に応じて多様なテキストを関連づけて読みながら、思考力・判断力・表現力を高めることができるよう工夫されている。</p> <p>○「読む」領域では、学習のてびき「みちしるべ」を示し、内容の読みを深め、自分の考えを形成・共有することができるよう工夫されている。</p>	<p>○「メディアと表現」では、漫画や広告等の生徒が日常生活で接する多様な表現媒体を取り上げ、興味をもって各媒体の特徴や効果を理解し、自己の表現に生かせるよう工夫されている。</p> <p>○1年の古典では、導入として「桃太郎」で関心を高め、3年では「古典文法活用表」を掲載して高校の学習につなげるよう工夫されている。</p>	<p>○各単元・教材に関連する多種多様な図書を「広がる本の世界」で紹介するとともに、ビブリオバトルやポップづくりなどの様々な読書活動につながるような工夫がされている。</p> <p>○「最後の一句」の作者紹介、巻末の「『ふるさと』を巡る」で、島根の代表的作家である森鷗外が取り上げられており、郷土の作家への興味を喚起できる。</p>	<p>○各学年に「持続可能な未来を創るために」を設け、他教科の学習との関連が図れるようにするとともに、考えの形成や問題解決に向けた話し合いの力が高まるよう工夫されている。</p> <p>○巻末折込に「理解に役立つ言葉・表現に役立つ言葉」を設け、語彙の拡充と、論理的な思考・表現に役立てられるよう工夫されている。</p>	<p>○内容に応じて「まなびリンク」を設け、家庭学習で利用できるワークシートや、読書、参考作品、動画・画像などの資料が見られる工夫がされている。</p> <p>○「言葉の自習室」では、レポートの書き方や百人一首、話す・書くテーマ集等、様々な言語活動を促す内容を幅広く取り上げている。</p>	<p>○各教材に「学びナビ」を配して、学び方の要点や思考方法、身につけた力の重点を示し、「学習の流れ」「みちしるべ」に従って課題追究の学習過程が習得できるよう工夫されている。</p> <p>○小学校で習得した事柄を確認し、高等学校の学習にもつなげられるように、学習内容の解説や、教材の構成が工夫されている。</p>
I	<p>○「読む」領域には、絵や図表を効果的に用いた教材を多く配し、文章と図表等を関連づけて読んだり、考えをまとめたりできるよう工夫されている。</p> <p>○巻末「学習を広げる」では、文章の読み方や思考の方法、名作の冒頭文等の幅広い内容を紹介し、自主的に国語の学びを広げたり他教科の学習に役立てたりできるよう工夫されている。</p>	<p>○「書く」領域では、職業ガイド等の多様なテーマ・文種を取り上げ、情報を正確に読み取り根拠をもって書く力や、自分の考えを表現豊かに書く力を高められるよう工夫されている。</p> <p>○巻末に「学習を振り返ろう」を設け、領域別の演習問題に取り組むことで、1年間で身につけた力を確認し、日常生活に生かせるよう工夫されている。</p>	<p>○1年生の「古典の世界」では、3年間で学習する教材を年表や絵を用いて親しみやすく紹介し、現代とのつながりを意識させながら古典学習への興味が高まるよう工夫されている。</p> <p>○年2回の読書単元では、「君たちはどう生きるか」や「星の王子さま」の翻訳の読み比べを掲載し、興味・関心をもって読みを広げる工夫がされている。</p>	<p>○「学習の窓」では、学習を通して身につける力のポイントを、図を用いて簡潔に示すとともに、巻末一覧として領域別にまとめることで、繰り返し活用できるよう工夫されている。</p> <p>○単元「情報社会を生きる」を設け、情報を適切に読み解き、主体的に考えて、論理的思考力や情報活用能力が育成できるよう工夫されている。</p>	<p>○各学年に「聞き上手になろう」を設け、主体的に聞くことや、対話・質問に係る多様な言語活動を位置づけることで、対話的で深い学びを支える基礎力が高まるよう工夫されている。</p> <p>○巻頭折込「思考の地図」には、学年に応じた思考ツールがまとめられており、様々な場面で考えを形成したり思考を深めたりできるよう工夫されている。</p>	<p>○二次元コードを配置し、興味・関心を高めたり、家庭学習等で学びを深めたりできるような工夫されている。</p> <p>○「季節のしおり」「言葉を味わう」等で、四季の言葉や詩歌を美しい挿絵と共に紹介し、日本語の豊かさに触れて感性を磨き、言語感覚を養えるよう工夫されている。</p>	<p>○教材末の「学習」（てびき）に、学習過程と身に付ける力の要点を明示することで、主体的に学習が進められるよう工夫されている。</p> <p>○優れた文章教材や巻末資料「語彙を豊かに」「学習のための用語一覧」等により、系統的に語彙力を高め、語感を磨くことで思考力・表現力を養えるよう工夫されたよい教科書である。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 書 写 】 1 / 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
A	○各学年の扉に3年間の書写学習の流れと該当学年の学習内容が分かりやすく示され、見通しをもって学習できるよう工夫されている。 ○基本単元と活用単元「生活に広げよう」で構成され、巻末には「書写活用ブック」として、生涯にわたって活用できる実用的な知識や書式が網羅されている。	○1年生の冒頭に「小学校の学習を振り返ろう」を置き、3年生では高校の書道学習について紹介するなど、小中高の学習の接続を図っている。 ○基本単元は、硬筆書写から課題を見つけ、「書写のかぎ」(学習ポイント)をふまえて学習事項を毛筆で確認した後、硬筆文字に応用し定着を図るという流れで構成され、主体的に学べるよう工夫されている。	○コラム「文字のいずみ」を設け、文字の歴史、書写の道具、手書き文字の良さなど、様々な事柄を取り上げて文字文化への興味を高め、その担い手としての自覚を促すよう工夫されている。 ○学習を深める多様な情報が漫画や鮮明な写真とともに豊富に掲載され、興味・関心が高まるように工夫されている。	○「生活にひろげよう」では、「職場訪問をしよう」等の教材を置き、書写の学習が体験や暮らしに生かせるようにするとともに、教科横断的な学習が展開できるよう工夫されている。 ○「書き手の意図と表現」「思いを文字で表そう」等では、目的や意図に応じて効果的に文字を書く力の育成が図れるよう工夫されている。	○「書写で学ぶこと」「仕事の中の手書き文字」等で、書写学習の意義を理解したり、仕事や将来の生活と自分を結び付けて考えたりできるよう工夫されている。 ○リンクマークで国語や他教科等の学習に関連する内容が示され、書写の学びを他の学習や生活に生かせるよう工夫されている。	○人物やキャラクターの吹き出しを使って学習のポイントを分かりやすく示している。 ○デジタルコンテンツでは、筆の動きや関連教科書の紙面等が視聴でき、授業や家庭学習に主体的に取り組めるよう工夫している。 ○裏表紙に保護者へのメッセージを掲載。	○各単元が課題解決的な学習過程で構成され、実際の生活に結びつけた教材や思考・対話を重視した活動によって、書写の力をつけていける特に優れた教科書である。 ○古典や情報教育、社会生活等の幅広い観点から文字を扱っており、生涯にわたって主体的な文字の使い手となるよう工夫されている特に優れた教科書である。
F	○「基礎編」「本編」「資料編」で構成される。「基礎編」では、書写の姿勢や筆の持ち方等の基本事項を絵写真を用いて分かりやすく示し、「資料編」では、日常の各種書式、書写に関する知識、手本等を掲載している。 ○各単元に「書き方を学ぼう」を配して学習のポイントを示すとともに、巻末に一覧表としてまとめている。	○硬筆教材では、練習用のマス目が多く、なぞり書きもできるようになっており、硬筆ノートとしても活用できる。 ○毛筆で学習した内容を硬筆で繰り返し書くことによって習得させ、普段の自分の書字に生かせるよう、構成が工夫されている。	○「自分の文字を書き残そう」では、1年の書き始めの文字と3年の集大成の文字が対比して書けるようになっており、自己の成長が自覚できる工夫がされている。 ○「身のまわりの文字」では写真とともに様々な書体の文字や達人が紹介され、興味をもって文字文化について考えられるよう工夫されている。	○点画の組み立て方の基本や間違いやすい文字の筆順が、矢印や囲み、線の色分け等で、分かりやすく示されている。 ○毛筆補充教材が充実しており、自主的に学びを広げられる工夫がある。	○活字と手書き文字を比べて印刷文字の課題に気づかせたり、手書き文字の許容範囲を示したりすることで、学習や実生活に生かせるよう工夫されている。 ○「グループ新聞を作ろう」「情報誌を作ろう」では、他教科や総合的な学習の時間との関連が図れるよう内容が工夫されている。	○篆刻や古典の優れた筆跡を紹介するなど、高校書道への関心が高まるよう工夫されている。 ○47都道府県の位置や名物を確認しながら、都道府県名を硬筆で書く教材があり、楽しく学習できる工夫がされている。	○「書いて身につけよう」では、豊富な書き込み欄と振り返り欄を設け、毛筆学習の内容が硬筆に生かせるよう工夫されている。 ○文字文化の豊かさを示すたくさんの資料が掲載され、文字文化の担い手となる意欲を高める工夫がある。

選定に必要な資料

【書写】 2/2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
G	<p>○様々な教材や文字文化に関する資料を豊富に掲載している。硬筆の練習内容や量も充実しており、毛筆の学びが硬筆に生かせるよう工夫されている。</p> <p>○話し合い活動や考えを書き込む欄を随所に設け、主体的対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。</p>	<p>○「試し書き」から課題を発見し、毛筆で課題解を決定し、硬筆で確認し、振り返りを行うという「学習の進め方」が明示され、主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○「目的に合わせて書こう」では、目的や必要に応じて文字を効果的に書く力を身につけるとい書写学習の意義を理解し、意欲的に取り組めるよう工夫している。</p>	<p>○学校生活や日常生活に即した学習活動や具象例が絵写真と共に掲載され、意欲的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○コラム「あの人が残した文字」「建築と書」等では、人・もの・ことの視点から豊かな文字文化に触れて、興味・関心を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○「多様な表現による文字」では、身の回りの様々な文字や松江城をはじめとする47都道府県の城址碑文を掲載し、効果的な文字表現について考えられるよう工夫している。</p> <p>○「情報を整理して、活動につなげよう」では、情報活用能力の育成と関連づけながら効果的に文字が書けるよう工夫されている。</p>	<p>○「校庭の植物観察をレポートにまとめる」「おすすめの本の帯やポップをつくる」「新聞を書く」など、各教科等との関連を図った学習課題が工夫されている。</p> <p>○「書式の教室」では、手紙や年賀状、包み紙、エアメール、願書や志願理由の書き方等、実用的な書式を取り上げ、書字を通して主体的に社会に関われるよう工夫されている。</p>	<p>○「まなびリンク」で毛筆書写の動画を見ることができ、書くリズムや筆脈等の確認ができる。</p> <p>○1年生の最初に「学習内容を効果的にノートに書こう」を設け、文字を正確に読みやすく書くことの意義を理解し、書写学習への意欲が持てるよう工夫されている。</p>	<p>○豊かな文字文化に触れるとともに、書写を学習する意義や楽しさが感じられるように、多様な教材が工夫され、写真資料やコラムも充実している。</p> <p>○書写学習で習得した力を他教科や社会生活に活用できるよう工夫された優れた教科書である。</p>
I	<p>○他社と異なり、B5版サイズの教科書である。</p> <p>○硬筆練習帳として「書写ブック」(全28ページ)を綴じ込みで添付。</p> <p>○毛筆学習をもとに、豊富な硬筆練習を通して書字力の定着が図れるよう工夫されている。</p> <p>○大きな手本と、すっきりとゆとりのある紙面構成で、学習のポイントが分かりやすいよう工夫されている。</p>	<p>○1年「読みやすく書くための楷書」、2年「読みやすく速く書くための行書」、3年「文字を使い分ける」など、各学年の冒頭で学習の目的を明示している。</p> <p>○「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という学習の流れを示し、見通しをもって主体的に学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○「私の好きな言葉」では、有名なスポーツ選手や漫画家の色紙を教材に学習が組み立てられ、興味を持って取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○コラム「やってみよう」では、書字の速さを比べたり、テレビ番組タイトルをデザインしたりするなど、楽しみながら書く力を高めるよう工夫されている。</p>	<p>○「全国文字マップ」では、出雲大社や鳥取砂丘の碑文を取り上げ、身の回りの文字に関心が持てるように工夫されている。</p> <p>○UD文字を取り上げて、様々な文字がUDの観点で表示されていることを示し、見やすく読みやすい文字の大切さについて考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○「行書を活用しよう」「はがきの書き方」では、文字を書く意欲を喚起し、書写学習と学校生活・日常生活とのつながりが実感できるような内容になっている。</p> <p>○学級目標や職場訪問の壁新聞の書き方を実生活や国語学習と関連づけて学べるように、教材化されている。</p>	<p>○「文字の歴史を探る」「物語を千年書き継ぐ」等で文字の役割や歴史を学び、文字文化の豊かさを理解しながら、その担い手としての自覚を促せるよう工夫されている。</p> <p>○二次元コードが随所に配され、硬筆・毛筆の運筆動画等の豊富な資料が提供されている。</p>	<p>○各教材の最初に考えたり話し合ったりする活動が置かれ、学習ポイントを示した「学習の窓」を核に、思考力・判断力・表現力が高められるよう工夫されている。</p> <p>○何を何のために学習するのかが明確にされており、統一された学習過程に基づいて、主体的に学習できるよう工夫されたよい教科書である。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 社会（地理的分野） 】 1 / 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
A	<p>○基礎的・基本的な内容構成であり、分量も適当である。</p> <p>○地理学習に必要な様々な技能を取り上げた「スキル・アップ」と資料活用力を高める「資料から発見！」で、学習を進める上で必要な技能が身に付けられよう工夫されている。（p. 15, 71）</p>	<p>○内容ごとに「学習課題」「チェック」「トライ」で、学習の見通しと振り返りができるよう配慮されている。（p. 78, 79）</p> <p>○単元末のまとめでは、「みんなでチャレンジ」様々な思考ツールを用いて対話をし、深い学びができるよう配慮されている。（p. 242, 243）</p>	<p>○各章のはじめで、写真で小学校の学習を振り返り、「導入の活動」で学習の見通しをガイドンスできるよう工夫されている。（p. 6, 7）</p> <p>○「地理にアクセス」で学習に関連のある話題を取り上げ、視点を変えてとらえたりすることができるよう工夫されている。（p. 93）</p>	<p>○竹島の写真と地図が北方領土・尖閣諸島とともに掲載されている。</p> <p>○海士町の遠隔授業の様子や松江市のルビーでのまちおこしが取り上げられている。（p. 26, 197, 205）</p>	<p>○他分野・他教科との関連を図った学習が進むよう、マークが表示されている。（p. 21, 23）</p> <p>○世界・日本の諸地域では、それぞれの地域で仕事や活動をする人のインタビューや「もっと地理」で、身近な問題への課題意識が高まるよう工夫されている。（p. 118, 189, 196）</p>	<p>○「読み取る」「考える」「集める」「まとめる」で知識・技能を活用し、学習を深めるよう工夫されている。（p. 21, 28, 82）</p> <p>○他分野や他教科との関連を確かめることができるようになっている。（p. 5）</p>	<p>○単元ごとの「探求課題」では、話し合い活動を行いながらまとめ、解決することで、思考力・判断力・表現力を身に付けることができるような配慮が優れている。（p. 235, 242, 243）</p> <p>○現代的な諸課題を意識して学習を進められるよう配慮された優れた教科書である。（巻頭3, p. 1, 55, 270）</p>
G	<p>○基礎的・基本的な内容構成である。</p> <p>○「地理の技」のコーナーを設け、地図やグラフの基本的な扱い方が身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○内容ごとに、「学習課題」「確認」「深めよう」で、見通しと振り返りができるようになっている。（p. 96, 97）</p>	<p>○学習内容に関するコラム「地理の窓」を設け、興味・関心を高めるよう配慮されている。（p. 194, 195）</p> <p>○折り込みでは、宇宙からとらえた地図などを載せ、興味・関心が高まるよう工夫されている。（p. 129～132）</p>	<p>○竹島の写真と地図が掲載されている。（p. 25）</p> <p>○伝統芸能として石見神楽が、また交通手段の多様化として石見空港の状況が取り上げられている。（p. 189, 199）</p>	<p>○他分野との関連があるところにはページと内容が示されている。（p. 23, 31）</p> <p>○「地域から世界を考えよう」や「現代日本の課題を考えよう」で、身近な問題への課題意識が高まるよう工夫されている。（p. 64, 228）</p>	<p>○小学校と中学校との学習との接続や地理的な見方・考え方、地図のきまりや地図帳の使い方がわかりやすく示されている。（巻頭Ⅰ - Ⅳ、p. 6～8）</p>	<p>○基礎・基本を身に付ける内容と深める学習がきちんと配置されている。（p. 188, 189, 200, 201）</p> <p>○現代的な諸課題を意識してつくられているよい教科書である。（巻頭Ⅳ、p. 149, 200）</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 社会 (地理的分野) 】 2/2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
J	<p>○基礎的・基本的内容で簡潔にまとめられている。</p> <p>○「技能をみがく」では地理の基礎的な技能が身に付けられるように、「資料活用」では資料に関する問いかけや作業内容が示され、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。(p. 5, 36)</p>	<p>○内容ごとに、「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」で、見通しと振り返りができ、補足説明や「解説」で、学習を深めることができる。(p. 112, 113)</p> <p>○単元末の「節の学習を振り返ろう」は、自分でまとめながら、段階に応じて思考力、判断力、表現力をつけることができる。(p. 250, 251)</p>	<p>○「地理プラス」「未来に向けて」で、学習に関連のある話題やテーマで学習への興味・関心を高めるよう配慮されている。(p. 197, 257)</p> <p>○節の振り返りでは、最後に「私たちとの関わり」という視点で自分の生活に学習が生かせるような工夫がしてある。(p. 185)</p>	<p>○竹島の歴史的経緯から現在の状況までが本文に掲載され、「地理プラス」に隠岐の人々の願いや竹島の日について、また、位置と国境がわかる地図が掲載されている。(p. 20, 21)</p> <p>○文化財と伝統文化を生かす取組として石見銀山、出雲大社、石見神楽が紹介されている。(p. 187, 198, 199)</p>	<p>○小学校や他分野との関連部分には、分野と内容がページ下部に示され、わかりやすくなっている。(p. 20)</p> <p>○「声」「地域のあり方を考える」で、それぞれの地域の実社会の人々の具体的な話を取り上げ、学習内容を身近な問題としてとらえられるよう工夫されている。(p. 180, 252)</p>	<p>○動画サイト、コンテンツにつながる二次元コードが多く掲載され、学習を広げ深められるよう工夫されている。(p. 3, 13)</p>	<p>○単元ごとの「問い」で知識・技能や思考力・判断力・表現力を身に付け学習を自分の生活に生かすことができるような配慮が特に優れている。(p. 174, 184, 185)</p> <p>○環境・防災・共生のテーマをコラムで特設し、現代的な諸課題を意識して学習できる特に優れた教科書である。(巻頭1, 2 p. 89, 91, 191)</p>
O	<p>○内容・分量ともに適当である。細かい記述の部分が比較的多く、「中央構造線」などやや難しい用語もみられる。</p> <p>○「スキル up」で、地理の学習で育てたい技能を6種類に整理し、系統立てて習得できるよう工夫されている。(p. 4)</p>	<p>○「学習課題」「確認」「深めよう」で、内容ごとに見通しと振り返りができ、学習内容を深めることができるようになっている。(p. 68, 69)</p>	<p>○「地理+α」「チャレンジ地理」で、課題を主体的に調べたり、興味・関心をもって学習を深めたりできるよう配慮されている。(p. 21, 151)</p> <p>○単元の最初に写真とともに3択クイズを取り入れ、学習への興味・関心が高まるよう工夫されている。(p. 44)</p>	<p>○竹島の地図と写真が掲載され、出張竹島展や竹島資料室についてもふれられている。(p. 19)</p> <p>○地域活性化の取組として海士町の島留学が紹介されている。(p. 188)</p>	<p>○それぞれの地域に住んでいる人の話を取り上げた「自由研究」のコーナーで、学習内容を身近な問題としてとらえられるよう工夫されている。(p. 186, 190)</p>	<p>○地理的な見方・考え方について、イラストを交えてわかりやすくガイダンスできるよう示されている。(巻頭Ⅱ,Ⅲ)</p>	<p>○内容ごとに見方・考え方を設定し、まとめでは、様々な思考ツールで技能や思考力、判断力・表現力を身につけることができるよう工夫されている。(p. 188~191)</p> <p>○コラムや資料などを通して現代の様々な状況を考えたり学んだりできるよい教科書である。(p. 104, 246, 262)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 社会（歴史的分野） 】 1 / 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
A	<p>○見開き2ページの本文の周囲に、豊富な写真や資料がある。本文の行間はゆとりがあり、読みやすい内容である。</p> <p>○写真や図表がわかりやすく配置され、「スキル・アップ」のコーナーでは、情報収集、読み取り、まとめの技能が習得できる構成になっている。(p. 37)</p>	<p>○各章の導入では、小学校の内容との関連が示され、章のまとめで学習内容と年表が完成できるように工夫されている。(p. 18, 58)</p> <p>○小学校での学習を振り返り、各章や各節、各授業の学習課題を示して、段階に応じて単元をまとめることができるよう工夫されている。(p. 19, 59)</p>	<p>○特集ページ「資料から発見」では、絵巻物や屏風絵などの絵画資料から、その時代をとらえられるように工夫がされている。(p. 52, 53)</p> <p>○コラム「もっと歴史」では、琉球やアイヌの文化について紹介し、興味関心をもって文化の多様性を学べるように工夫されている。(p. 90, 91, 140, 141)</p>	<p>○コラム「もっと歴史」では島根県と神話を取りあげ、出雲大社とともに出雲神話や佐陀神社について詳しく記述されている。(p. 54)</p> <p>○竹島について「領土をめぐる問題の背景」では、写真や当時の地図を用いて、島根県への編入の経緯が記述されている。(p. 178, 180, 259)</p>	<p>○「歴史にアクセス」や「もっと歴史」のコラムでは、伝統・平和・防災・人権などのマークが示され、関連を意識できるように工夫されている。(p. 87, 242, 274)</p> <p>○他教科の学習とつながりの強い内容には「教科関連マーク」がついており、教科等横断的な視点で捉えられるよう工夫されている。(p. 15)</p>	<p>○二次元コードから時代ごとにまとめられたサイトにアクセスできる。</p> <p>○「みんなでチャレンジ」では、対話的な活動によって多面的・多角的に考えられるよう、構成されている。(p. 191)</p>	<p>○各単元を貫く問いである「研究課題」の解決にたどり着くまでの構成が整っており、理解しやすいものになっている。</p> <p>○各分野や各教科との連携を意識した構成で、人権・平和問題など現在につながる事象について様々な視点からとらえる工夫がされている。</p> <p>○総合的に見て特に優れている教科書である。</p>
G	<p>○文字の行間にゆとりをもたせ、写真や図表も間隔をとり、見やすい構成になっている。</p> <p>○章末の見開き2ページには、時代のつながりや変化について、復習ができるようになっている。また、絵画資料とともに学習課題が設けられるなどの工夫がされている。(p. 94, 95)</p>	<p>○各節の導入では、学習課題を示して見通しを持たせ、節のまとめで語句を利用してまとめる活動が取り入れられている。(p. 95)</p> <p>○学習のまとめで利用する年表は、見開き2ページであり、見やすく配慮されている。(p. 56, 57)</p>	<p>○すごろくにチャレンジやカード作りなど、興味・関心をもって小学校での学習の振り返りができるように工夫されている。(p. 2~6)</p> <p>○タイトルの上の部分に時代スケールがあり、学習する時代の位置がわかるように工夫されている。</p>	<p>○「銀で結びつく世界」というテーマについて取りあげ、石見銀山の銀がどのような役割を果たしていたのかが説明されている。(p. 106)</p> <p>○竹島について「形づくられる日本」の本文で島根県への編入が記述され、コラムの中で編入の経緯や韓国の不法占拠について記述されている。(p. 176, 268)</p>	<p>○「身近な地域の歴史を調べよう」では、情報を集めたり、まとめたりする活動について詳しく紹介されている。(p. 10~16)</p> <p>○「歴史を探ろう」という特集ページでは、14のテーマから当時の様子と現在の暮らしとのつながりを考えられるように構成されている。(p. 140, 141)</p>	<p>○二次元コードから様々なデータベースにアクセスでき、資料や動画などを閲覧できるようになっている。</p> <p>○巻末の「世界地図の歴史」では、世界の形が歴史上、どのようにとらえられてきたか、関心を引く資料が掲載されている。</p>	<p>○「歴史を探ろう」や「歴史の窓」など学習内容を深めるページが多くあり、多面的・多角的な視点で歴史的な事象をとらえるような工夫がされている。</p> <p>○章末の「時代の変化に注目しよう」ではその時代と、次の時代の変化について考える活動を取り入れている。(p. 94, 95)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 社会（歴史的分野） 】 2 / 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
J	<p>○各時代のようなすを想像図やイラスト、世界地図など大きく掲載されており、学習で使いやすいように工夫されている。(p. 80, 81)</p> <p>○各章に配置されているコラムや特集ページは、学習内容を深化や違う視点からとらえられるような工夫がされている。</p>	<p>○章や節の導入では、学習課題を示して見通しをもたせ、段階的に課題解決ができるように工夫されており、歴史的な見方を利用してまとめる構成となっている。</p> <p>○「タイムトラベル」という各時代のようなすを想像図で掲載し、これから学習する時代のイメージを持てるように、前の時代との比較ができるように工夫されている。(p. 80, 81)</p>	<p>○特集ページ「多面的・多角的に考えてみよう」では「赤穂事件を考察する」など学習者の興味・関心を引くような課題が示されている。(p. 144, 145)</p> <p>○世界地図上に想像図や各地域とのつながりを示して、世界の動きと関連して興味や関心をもてるように工夫されている。(p. 42, 43)</p>	<p>○古代の学習では「荒神谷遺跡の銅剣」や出雲地方を中心に点在する「四隅突出型墳丘墓」が取りあげられ、国や権力の誕生について記述されている。(p. 27, 32)</p> <p>○竹島について「新たな外交と国境の画定」の本文に島根県への編入が記述されている。また、コラムで編入の経緯や韓国の不法占拠について記述されている。(p. 179, 267)</p>	<p>○コラム「未来に向けて」では、持続可能な開発目標に関連する内容として、未来の社会のために、参考となる先人の取組が紹介されている。(p. 153)</p> <p>○巻末の「多面的・多角的に構想する」では、歴史の学習を振り返り、現在と未来の日本や、世界とのありかたについて、対話を通して考えられるように構成されている。(p. 286, 287)</p>	<p>○二次元コードから、コンテンツごとにまとめられたサイトにアクセスできる。</p> <p>○ページ右側に年表が掲載されていることから、常に時代を確認でき、世界の動きを意識できるように工夫されている。</p>	<p>○「章の学習を振り返ろう」では、年表や図表を使って課題に対する自分の考えをまとめ、学習者同士との対話を通じて各時代を大観できるように工夫されている。(p. 92, 93)</p> <p>○時代の想像図である「タイムトラベル」では、内容と想像図の関連がつかめるように工夫されている。(p. 80～83)</p> <p>○総合的に見て、優れた教科書であると考える。</p>
M	<p>○見開き2ページの写真・図表などの資料の数が多。本文の記述も詳細であり、歴史的事象に関する説明が丁寧である。</p> <p>○日本史と世界史の年表が各資料とともに掲載されており、また、世界地図も多く掲載されていることから、世界の動きと関連付けて学習するように工夫されている。(p. 102, 103)</p>	<p>○各授業では、1～2程度の学習課題を示して見通しをもたせ「終末」にある「ステップアップ」でさらに学習内容を深化するように課題掲示がされている。(p. 112, 113)</p> <p>○特集ページ「歴史を考えよう」では、さまざまな資料を読み取り、学習内容について考えを深める工夫がされている。(p. 76, 77)</p>	<p>○コラム「地域からのアプローチ」では、特定の地域を取りあげ、その時代と関連する史跡や特産品について紹介されている。(p. 58, 59)</p> <p>○世界地図を用いて世界の様子や遺跡などがイラストで示されており、世界全体の発展のようすが興味・関心をもって読み取れるように工夫されている。(p. 110, 111)</p>	<p>○「ヨーロッパ人との出会い」では、石見銀山について、銀山が示された当時の地図や銀の写真が掲載され、当時の海外における銀の需要について説明されている。(p. 113)</p> <p>○コラムでは、竹島の島根県への編入と韓国による不法占拠について記述されている。(p. 266, 267)</p>	<p>○コラム「歴史へのアプローチ」では、琉球文化とアイヌ文化が詳細に示され、日本における文化の多様性について、考えられるようになっていく。(p. 88～91)</p> <p>○特集ページ「歴史を考えよう」は主権者の育成の観点から作成されており、普通選挙や日本国憲法などについて考えられるよう構成されている。(p. 228, 229)</p>	<p>○二次元コードから様々なサイトにアクセスでき、動画、資料などを見ることが出来る。</p> <p>○「身近な地域を調べよう」では、調査スキルのポイントがまとめてあり、他教科の学習にも活用できるように説明されている。(p. 8～13)</p>	<p>○各章の導入で日本史と世界史の年表を並記したり、各時代の世界の様子を地図とイラストで紹介したりして、世界の動きとの関連を意識できるように構成されている。</p> <p>○章末のまとめでは、地図や図表を活用し、視点を明確にしてまとめ、直接記入ができるように工夫されている。(p. 152, 153)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 社会（歴史的分野） 】 3 / 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
○	<p>○時代ごとの様子をとらえる資料が多く使用され、特に文化財に関する資料は豊富に掲載されている。 (p. 98~101)</p> <p>○「先人に学ぶ」「女性史コラム」など、先人の取組を学び、これからの生き方について考えるような工夫がされている。(P. 154, 155)</p>	<p>○各編の導入に、複数の資料が提示され、時代の比較をするなど学習課題が見つけれられるように工夫されている。また、各編のめあてが示されている。(p. 106~107)</p> <p>○「チャレンジ歴史」など歴史的事象の考察や対話的な活動を通じて学習を深化させる特設ページが多く載っている。(p. 216, 217)</p>	<p>○特設ページ「歴史との対話を未来に活かす」では、学習を振り返り未来を考える活動が設けられている。 (p. 298~305)</p> <p>○各編の導入の「地図で見る世界の動き」では、世界地図や写真があり、世界とのつながりに興味をもつ工夫がされている。(p. 66, 67)</p>	<p>○コラムでは、石見銀山についてヨーロッパの国々に認められ、戦国時代に要所として争われたことが記述されている。(p. 121)</p> <p>○「領土の画定と隣接地域」の本文、年表、地図で竹島の島根県編入について、特設ページで歴史的経緯と現在の状況について記述されている。 (p. 192, 193, 292, 293)</p>	<p>○巻頭ページには、過去と現在の街並みや人々の様子が比較してあり、生活のつながりがわかるように構成されている。</p> <p>○コラム「先人に学ぶ」では人権保障、世界平和、文化の発展などに取り組んだ人々を紹介し、道徳などとの関連を図るよう工夫されている。(p. 215)</p>	<p>○二次元コードからサイトにアクセスでき、学習内容を深めることができる。</p> <p>○巻末の「歴史学習の基礎資料」として、絵画資料の見方や土地制度の移り変わり、文化財の種類について詳しく説明されている。</p>	<p>○文化財資料や考古学資料が多数掲載され、資料を比較したり背景を考えたりする活動を通して、多面的・多角的な視点で歴史的な見方・考え方をとらえられるように工夫されている。</p> <p>○学習するときの手立てとなる「歴史的な見方・考え方」について、詳しく説明されている。(p. 12, 13, 18)</p>
R	<p>○多くの人物が取りあげられ、写真とともに詳細に紹介されている。多角的な視点で歴史的な事象が考えられるように配慮されている。 (p. 208, 209)</p> <p>○古代の宗教観や神話など、日本の成り立ちについて詳しく紹介されており、古来の見方・考え方について触れることができる。 (p. 44, 56, 57)</p>	<p>○各章の導入の「○○の世界へようこそ！」では、見開き2ページの絵画資料に着目して、その時代の特徴やその他の時代との比較ができるように工夫されている。(p. 72, 73)</p> <p>○特集ページ「歴史のターニングポイント」では、各時代を代表する大きな出来事を詳細に掘りさげ、学習者同士の意見交換ができるよう工夫されている。(p. 150)</p>	<p>○特集ページ「私の博物館をデザインしてみよう」では、自分が学芸員になり展示方法を考えるなど、各時代の特徴について興味を持って学習する工夫がされている。(p. 151)</p> <p>○各章の導入では「鳥の目」でイラストを、「虫の目」で絵画資料を見て時代をとらえ、興味関心を持って学習できるように工夫されている。(p. 70~73)</p>	<p>○コラムでは、日本の神話について詳しく記述され、その中で出雲大社や島根県の神代神楽が紹介されている。 (p. 56, 57)</p> <p>○竹島について「明治初期の外交と国境の画定」の本文に島根県への編入が記述されている。コラムの中で編入の経緯や韓国の不法占拠について記述されている。 (p. 183, 267)</p>	<p>○江戸時代の生活について書かれたコラムでは、環境に配慮した生活の知恵について記述され、現代の課題を意識した構成となっている。 (p. 133)</p> <p>○「震災の日本史」が特設ページで設けられている。震災から得た教訓から、これからをどう生きるかということについて、考えることができるよう工夫されている。(p. 284, 285)</p>	<p>○各章の導入で、「歴史ものさし」を使うことで、時代の範囲や当時の様子、日本の発展についてとらえることができるよう工夫されている。(p. 69)</p> <p>○章末には年表や地図を使ったまとめがあり、最後には歴史学習全体のまとめができるよう工夫されている。(p. 292, 293)</p>	<p>○人物について「なでしこ日本史」や「人物クローズアップ」で多く取りあげられ、その時代の背景や人々の思いについて知ることができるよう工夫されている。(p. 214)</p> <p>○特集ページで「このころの世界は」では、当時の世界の様子について詳しく述べられ、世界の動きと関連付けて学習できるように構成されている。(p. 84, 85)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 社会 (公民的分野) 】 1/3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
A	<p>○図表、写真等の資料が多く、資料の活用の視点が示されるなど、社会的事象について考えるための工夫がされている。(p. 12, 18, 19)</p> <p>○「スキルアップ」で公民学習をすすめる上での基礎的・基本的な技能の身につけ方が示され、各章の「まとめの活動」には複数の思考ツールを用いた整理方法が示されている。(p. 34, 35, 85, 101)</p>	<p>○各章ともはじめに単元の学習を貫く「探究課題」を設定し、節ごとの「探究のステップ」や、1時間の授業の「学習課題」を考えることを通して、「探究課題の解決」に迫る構成となっている。(p. 6, 7, 8, 32, 34, 35)</p> <p>○1時間の授業の最後にはチェック&トライで、また各章の最後には基礎基本のまとめで学習内容の定着を図る構成となっている。(p. 9, 33)</p>	<p>○各章の導入部では、現代社会の見方、考え方について触れるシミュレーション活動を通して、1時間の授業の「学習課題」につながる工夫がされている。(p. 128, 129, 76, 77)</p> <p>○「公民にアクセス」や「もっと公民」では、学習内容の補充や深化を図ることができたり、異なる視点でとらえたりすることができる。(p. 16, 57, 171)</p>	<p>○竹島問題について、特設ページにて、写真や新聞記事などをつけて、領土問題の経緯や我が国の外交努力に加え、島根県による「竹島の日」制定について記述されている。(p. 184)</p> <p>○成年年齢が18歳に引き下げられることに向けて、「18歳へのステップ」として選挙と契約について取りあげ、意識が高まるよう工夫されている。(p. 88, 89, 136, 137)</p>	<p>○「みんなでチャレンジ」では、小グループでの対話的な活動が設定されており、生徒が多様な意見に触れながら、価値判断や意思決定をおこなうことができる。(p. 9)</p> <p>○終章では、社会の諸課題を解決するために「自分にできること」を提案する活動が設定されており、生徒の社会参画を促すものとなっている。(p. 213~219)</p>	<p>○他分野(地理、歴史)との関連を示すことで、多面的・多角的に考察する力を育てられるよう工夫されている。(p. 10, 14)</p> <p>○二次元コードによって学習に役立つリンク集と繋がったり、シミュレーションなどが行えたりするよう工夫されている。(p. 5, 81)</p>	<p>○各単元を貫く問いである「研究課題」の解決にたどり着くまでの構成が整っており、理解しやすいものになっている。</p> <p>○図表・写真などの資料が豊富で、また個人やグループで取り組む作業や活動が随所にあり、さらにそれらの内容もわかりやすく、技能や思考・判断・表現の力がつくよう工夫されている。</p> <p>○総合的に見て、特に優れた教科書である。</p>
G	<p>○教科書の使い方について具体的に説明されているため、安心して学習に取り組むことができる。(p. 4)</p> <p>○図や写真などが多く掲載され、また、用語や本文の解説が側注で説明されており、理解しやすいように工夫されている。(p. 16, 17)</p>	<p>○各章ともはじめに学習テーマや「見方・考え方」を提示し、章末で、三段階の課題で振り返る構成になっている。(p. 12, 13, 34, 35, 36)</p> <p>○見開きページは、学習課題・確認・表現の三段階で構成され、思考力・判断力・表現力の育成ができるように設定されている。(p. 40, 41)</p>	<p>○学習への興味・関心を高めるために、学習コラム「公民の窓」を効果的に取りあげている。(p. 47)</p> <p>○人物にスポットをあてた「クリップ」で、さらに学習への意欲が高められるように工夫されている。(p. 51)</p>	<p>○竹島問題について、「日本固有の領土」「韓国政府は領土問題の存在を否定」と本文に記載されている。また、写真と解説も掲載されている。(p. 197)</p> <p>○過疎地域から世界へ発信している、大田市の中村ブレイスを取りあげている。(p. 189)</p>	<p>○「公民の技」では、個人やグループ活動を通して、公民の学習で身につけさせたい技能や表現を養えるように工夫されている。(p. 89)</p> <p>○見開きページ右下端に、小学校・他分野・他教科の関連があり、教科横断的な視点で学習できるように考えられている。(p. 20)</p>	<p>○学習に役立つさまざまな情報をウェブサイトで閲覧できるように、「まなびリンク」が設定されている。(p. 5)</p> <p>○ノートの取り方について取りあげ、自学の視点が示されている。(巻頭Ⅳ)</p>	<p>○全体を通して、本文・資料・写真等がバランスよく配置され、見やすいように工夫されている。また、印刷が目優しい教科書である。</p> <p>○内容のまとめでは、学習内容の確認、知識の定着、説明したりする振り返りが毎時間できるように工夫されている。(p. 15)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 社会 (公民的分野) 】 2/3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
J	○図表、写真等の資料が多く掲載され、資料活用のポイントを示したり、難しい語句については同ページに「解説」を設けたりするなどの配慮がされている。(p. 3, 4, 69) ○「技能をみがく」では、基礎的な技能として、新聞の活用の仕方や思考ツールを用いた整理の仕方などが示されている。(p. 71, 72, 103)	○章のはじめに「章の問い」を提示し、章末のまとめで、意見の整理や意見交換などの三段階の活動を通して「章の問い」を考える構成となっている。(p. 3, 16) ○見開きページは、最初に追究のきっかけとなる資料や課題が示され、学習の最後には「確認」と「説明」で内容の定着を図る構成となっている。(p. 3, 4)	○各部の導入では、「学習の前に」という学習内容に関するイラストが描かれ、随時イラストを振り返ることで、具体的にイメージして考えることができるようになっている。(p. 1, 2, 4) ○「公民プラス」や「先輩たちの選択」では、身近な実社会の動きを取りあげ、興味・関心が高まるように工夫されている。(p. 4, 13, 14)	○竹島問題について、「日本固有の領土」「不法に占拠」「国際司法裁判に委ねよう」と提案」と本文に記述され、側注では、編入の経緯などが記述されている。(p. 175, 176) ○「よりよい社会を目指して」では、人権尊重や自然環境保護といった課題や解決に向けた取組を取りあげることで社会参画を促している。(p. 49, 50)	○「アクティブ公民」では、実際の生活に即した課題について話し合ったり、選択・判断に取り組んだりして、本文での学習を深められるよう工夫されている。(p. 163, 164) ○各章末に第4部第2章でのレポート作成のための視点が示されており、レポート作成を進めやすい配慮がなされている。(p. 106, 203~210)	○単元「企業と経済」では、「パン屋を起業しよう」が設定され、自分ごととして課題に取り組める工夫がされている。(p. 127~144) ○二次元コードによって学習に役立つリンク集と繋がったり、シミュレーションなどが行えたりするよう工夫されている。(巻頭4, p. 3)	○自然災害を資料や課題として取りあげ、防災について考えが深まるよう工夫されている。(巻頭1, 2, 4, 17, 141) ○各部に設けられたイラストを、学習途中や学習後に振り返ったり、単元を通したシミュレーションを設定したりするなど、学習が深まるよう工夫されている。(p. 1, 2, 4, 127~144) ○総合的に見て、優れた教科書である。
O	○図表、写真、統計資料等が多く、複数の資料をもとに社会的事象について考えるための工夫がされている。(p. 8, 9, 12, 13 など) ○最下段に地理的・歴史的分野での既習事項との関連が示され、今までの学習を振り返りながら学習を進めていけるよう配慮されている。(p. 8, 10, 12 など)	○見開きページで、学習のきっかけとなる資料、課題と「見方・考え方」が示され、最後に理解を確かなものにするための問いが示されている。(p. 10, 11) ○各編の終末には「学習の整理と活用」があり、整理の仕方が身に付けられるよう構成されている。(p. 32, 33)シミュレーション	○各編の導入に漫画を用いて考える活動が設定され、学習内容の見通しや興味・関心がもてるよう工夫されている。(p. 6, 7, 34, 35) ○「公民+α」「チャレンジ公民」では、最近の話題や生徒が身近に感じる話題を学習内容に関連して取りあげている。(p. 11, 50, 74)	○竹島問題について、「日本固有の領土」「不法に占拠」と本文に記載され、領土をめぐる「公民+α」では歴史的背景が記述されている。(p. 182~184) ○「明日に向かって」では身近な地域が抱える問題を考える活動が設けられ、社会参画を促している。(p. 116, 117)	○38ヶ所の「アクティビティ」では、「見方・考え方」などを用いて考察したり話し合ったりして、学習が深まるよう工夫されている。(p. 9, 11, 23) ○終章では、持続可能な社会の実現をめざすレポート作成に向け、課題例や作成のポイント、発表方法まで具体例を挙げている。(p. 212~220)	○「バリアフリー」のページでは、実際に点字が載せてあり、実感をもって理解できるように工夫されている。(p. 50) ○重要語句だけでなく多くの語句にルビがふられ、ユニバーサルデザインが図られている。	○各編や各時で課題解決の手掛かりとなったり、理解を深めたりする「見方・考え方」を示している。(p. 123, 124) ○本文に関連した資料、補足コラムなどの情報が多く、物事の考え方や情報を読み取る力を応用できるように工夫された教科書である。(p. 11, 29, 50, 74)

選 定 に 必 要 な 資 料

【 社会 (公民的分野) 】 3 / 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
Q	○見開きページの資料や写真が視覚的に捉えられるように、効果的に配置されている。特にグラフが大きく、また見やすいため、思考を深めることができる。(p. 11) ○難しい用語については側注解説がつけられている。(p. 71)	○見開きページで構成し、学習内容とねらいが示され、見通しがもてる構成となっている。(p82, 83) ○章末の「学習のまとめと発展」では、最重要語句の確認とさらなる深い学びができるように「学習の発展」が設定されている。(p. 42)	○「ミニ知識」を活用することにより、学習への興味・関心を高めとともに、吹き出しのコメントを通して、自分の考えを確認・整理することができるよう工夫されている。(p. 172) ○学習内容を深めるために、歴史上の著名人や写真が取りあげられている。(p. 70)	○竹島問題について、複数ページで記述されているとともに、国際司法裁判所への提訴についても触れられている。(p. 167, 170, 171) ○教科書裏表紙にはわが国の領域が示され、領土問題に対する意識が高まるように工夫されている。	○「アクティブに深めよう」では、身近な話題を通して、将来主権者・地域社会の担い手としてどうあるべきかを考えさせる内容が盛り込まれている。(p. 40, 41) ○課題の探求「レポートと卒業論文をつくろう」では、社会科学学習のまとめができるようになっている。(p. 214～216)	○全 72 単元が連番で示してあり、学習進度を把握しやすくなっている。 ○巻頭や「もっと知りたい」では、日本の技術や伝統・文化について紹介し、これらに気付き誇りに思えるように構成されている。(巻頭 i -iii, p. 14～21)	○本文の内容に関連した歴史上の人物や著名人が写真や説明で取りあげられている。(巻頭 i -iii, p. 55) ○「もっと知りたい」「ミニ知識」等で、日本の歴史・伝統文化・現代的課題について取りあげられている。(p. 56, 57, 68, 69, 154, 155)
R	○図表、写真(特に新聞記事)が多く掲載され、学習内容に関連した条文や法令、条約または側注解説をのせ、生徒の理解を促している。(p. 26, 27, 50, 55) ○「スキルアップ」では、新聞の社説を比べたディベートや思考ツールを用いた情報の整理など、公民学習の基礎的な技能が身に付けられるように配慮されている。(p. 87, 112, 113)	○各章のはじめにある「入り口」で、その章を貫く課題に取り組み、章末では学習した内容を生かして取り組む課題が設定されている。(p. 36, 37, 72, 73) ○毎時間の学習のまとめでは、学習内容の確認を行い、知識の定着を図ったり、因果関係を説明することで学習を深めたりできるよう工夫されている。(p. 19, 45)	○各章のはじめにある「入り口」では、市議会議員やコンビニの経営者になり課題を考えた話し合ったりすることで、興味・関心が高まるよう工夫されている。(p. 76, 77, 116, 117) ○「学習を深めよう」では、本文で説明したことをより詳しく解説したり、関連する情報を紹介したりして、学習内容を深める工夫がされている。(p. 60, 61)	○竹島問題について、特設ページを設け、竹島に関する歴史的経緯や、「于山島」をめぐる日本と韓国の主張を韓国での地図も交えて掲載している。(p. 186, 189) ○現代社会の課題として「情報化」について詳しく取りあげ、持続可能な社会に向けて幅広く考えることができる工夫がされている。(p. 131, 145)	○「やってみよう」では、昼休みのグラウンド使用や裁判のシミュレーションなど個人や班で取り組む作業や活動を通して、本文の学習を深められるよう工夫されている。(p. 31, 102) ○最終の「社会科のまとめ」では、持続可能な社会を築く観点から内閣総理大臣として政策提案のレポート作成を例示している。(p. 204～209)	○巻頭や巻末でSDGsについて取りあげ、最終のレポート作成まで関連付けたたり、society5.0について取りあげたりしている。(巻頭・巻末, p. 199) ○日本の伝統文化について、身近な祭りを調べるなど、その良さに気付くよう工夫されている。(p. 24, 25)	○様々な社会的事象に興味をもって考えることができるよう教材が工夫して配置されている。日本の祭りや伝統文化の特設ページを設けたり、「学習を深めよう」で日本の習慣を取りあげたりして、日本の良さに気付くよう工夫されている。(p. 24, 25, 161, 学習資料 p. 210, 211)

選 定 に 必 要 な 資 料

【 社会 (地図) 】 1/1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
A	<p>○教科書に似た表紙のデザイン、サイズも教科書と同様のA B版サイズの192ページで、UDフォントを使用し、地図や資料ともに明るい彩色を採用している。</p> <p>○縦見開きで地球儀を3分割した地図があり、世界の位置関係を捉えやすいよう工夫されている。(p. 29, 61, 67)</p>	<p>○一般地図、土地利用図や断面図、地域の特色を追究するためのテーマ資料の順で配列されており、検索しやすいよう構成されている。</p> <p>○「ジャンプ」マークで、他のページの資料と関連付けができるようになっている。(p. 94, 161)</p>	<p>○キャラクターの吹き出しで課題を示すなど、学習のポイントに着目させる工夫がある。(p. 23)</p> <p>○都道府県の産品とお国自慢の資料などが示してあり、学習の動機づけとして活用できるよう工夫されている。(p. 22, 165, 188)</p>	<p>○中国地方では、竹島の拡大図が掲載され、日本固有の領土であることや領土問題に関する記述がある。(p. 97, 190)</p>	<p>○巻頭の特集で現代的な諸課題をテーマ別に取り上げ、理解につながる資料が掲載されている。(p. 7~14)</p> <p>○世界全体の地理的な特色のページが設けられ、各地域で現代社会の諸課題に関する追究に活用されやすいよう工夫されている。(p. 15~28)</p>	<p>○「テーマ資料」の後には、その地域に関連する歴史的及び公民的分野の内容の写真や分布図などが配置されている。(p. 66, 95, 96, 131)</p>	<p>○三分野に関連する資料が掲載され、課題の発見や追究に活用しやすいよう工夫されている。(p. 21, 39, 95, 131)</p> <p>○現代社会の課題を大きく取り上げ、その課題を追究したりする上で必要な知識や技能の習得をめざした構成となっている優れた地図帳である。(p. 7~14)</p>
J	<p>○全188ページで、一回り大きなA版となり、大きな紙面で、縁取り文字を使用し、濃淡がはっきりした彩色で情報を読み取りやすい。各地域の特色が捉えやすい記述や資料、グラフなどが適切に配置されている。</p> <p>○小学校で身に付けた技能を生かせるよう「地図の使い方」が具体的に示されている。(p. 5~8)</p>	<p>○各地域の同一ページ内の資料図は同縮尺で示され、比較し、関連付けながら考察できるようになっている。(p. 27, 28)</p> <p>○日本を扱うページは、一般地図、資料、図に連続的に配置されている。歴史、産業、防災学習等の課題追求するための資料が掲載されている。(p. 107, 108)</p>	<p>○立体的かつイラストを配した鳥瞰図により、地域的な特色や人々の生活などをとらえやすいようになっている。(p. 31, 32, 88)</p> <p>○世界の生活・文化について、イラストや写真を豊富に用いて、違いが分かりやすいよう工夫されている。(p. 15~18)</p>	<p>○竹島の標高色別の拡大図や航空写真が国後島や尖閣諸島とともに掲載されている。また、日本固有の領土であることや韓国が不法に占拠していることの記述もある。(p. 30, 80, 89)</p>	<p>○防災・環境の資料が日本全ての地域の資料図に掲載され、身の回りの生活における防災意識や関心が高まるよう工夫されている。(p. 108, 149)</p> <p>○世界のすべての地域の資料に「日本との結びつき」を取り上げ各地域と日本との関係について追究しやすいよう工夫されている。(p. 44)</p>	<p>○「地図活用」のコーナーが複数設けられており、具体的な問いにより地図や資料を読み取る視点が示されている。(p. 49, 105)</p>	<p>○地図は大きく表示され、標高の高低差の配色が鮮やかで、違いがわかりやすく、見やすく各地域の特色が捉えやすい。(p. 109)</p> <p>○「地図活用」や「学習課題」コーナーを設け、授業でも家庭でも主体的に地図帳を活用できるよう工夫された特に優れた地図帳である。(p. 22, 57, 151)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 数 学 】 1 / 4

記 号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
A	<p>○1年には0章があり、算数で学習した内容を取り上げて、数学での学習の進め方、ノートの手作り方を示し、中学校の学習がスムーズに進められるよう配慮されている。(1年p.9~16)</p> <p>○章末の問題には活用の問題が含まれ、また、巻末には補充問題があり、個に応じた取り組みができるよう工夫されている。(3年p.162~164, 248, 249)</p>	<p>○「文字と式」では、等式と不等式をまとめて扱っており、違いを意識しながら正しく理解できるよう工夫されている。(1年p.84, 85)</p> <p>○「平行と合同」の導入では、多角形の角の和の説明から学習を始めており、あることからもとに新しい性質を導くという筋道を立てて説明することに意識を向けさせる工夫がされている。(2年p.98~100)</p>	<p>○章の扉には、身近な場面がイラストで提示され、問いを投げかける吹き出しや章のめあても示されており、生徒の興味・関心を高め、主体的な学びになるよう工夫されている。(3年p.127)</p> <p>○巻末の「数学の自由研究」では、自ら進んで考えたり調べたりする課題が載せてあり、興味・関心をもって思考・判断・表現できるように工夫されている。(2年p.199~208)</p>	<p>○章に入る前に「大切にしたい数学の学び方」で、「深い学び」のページの学び方を具体的に示している。(全学年p.6, 7)</p> <p>○巻末の章末問題の解答には「考え方」や「説明のポイント」などが書かれており、生徒が自分で学習を進めることができるよう工夫されている。(2年p.226)</p>	<p>○「学びを広げよう」では、数学を社会で活用している人をインタビュー形式で紹介し、それに関わる課題を載せている。(1年p.182, 183)</p> <p>○他教科と関連のある題材には、教科関連マークをつけ、教科のつながりが意識できるように工夫されている。(1年p.109)</p>	<p>○巻末の「さくいん」では、数学用語の説明を図を使って表している。(2年p.237, 238)</p> <p>○各章に、めあてとなるタイトルをつけ、生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。(1年p.113)</p>	<p>○活用問題を取り扱う節では導入時に問題発見・解決の過程を重視した数学的活動を例示し、主体的・対話的で深い学びとなるよう工夫されている。(2年p.83, 84)</p> <p>○章末の活用の問題は、写真を取り入れて提示し、日常生活との関連を意識しやすいよう工夫されている。(3年p.208)</p> <p>丁寧な記述や単元をとおした課題設定など、生徒が自分で学習を進められる特に優れた教科書である。</p>
B	<p>○章の中でページの右端に「プラス・ワン」として補充問題が示してあり、個に応じた学習ができるよう工夫されている。(2年p.21)</p> <p>○1つの小節は、「考えよう」で課題提示、「めあて」「活動」という流れで、基本的に見開き2ページの構成となっており、見通しをもって取り組めるよう工夫されている。(3年p.104)</p>	<p>○1年1章を「数の世界のひろがり」と設定し、素数や素因数分解について学んだあと「正の数・負の数」の学習へつながるよう内容配列が工夫されている。(1年p.12~19)</p> <p>○2年2章連立方程式では、加減法と代入法のどちらの考え方からでも学習できる構成になっている。(2年p.45)</p>	<p>○章末には「活用・探究」を設け、学習した内容を身近な場面で活用したり発展させたりする課題を載せ、興味・関心を高めるよう工夫されている。(2年p.132)</p> <p>○漫画の一場面を載せ、興味をもたせる導入になっている。(1年p.164)</p>	<p>○本文中には「伝えよう」や「判断しよう」という問題(Q)があり、意味理解が深まるよう工夫されている。(2年p.32, 75)</p> <p>○数学的な見方・考え方を働かせて学習できるよう、巻頭に数学的な見方・考え方が具体例を添えて掲載されている。(全学年p.9)</p>	<p>○数学と他教科や実生活とのつながりが理解できるように巻末の「MATHFUL」では、数学に関する読み物を載せている。(3年p.242~253)</p> <p>○「社会にリンク」では、仕事の中で数学を役立てている人へのインタビューを載せている。(3年p.135など)</p>	<p>○3年の巻末に、既習事項と高等学校数学とのつながりがわかるように系統性を示している。(3年p.276, 277)</p> <p>○1・2年生のまとめが付録としてついており、切り取って次の学年で使えるよう工夫されている。(1・2年付録p.1~4)</p>	<p>○問題発見から解決までの学習の進め方が示されており、その流れで学習を進める課題が各学年の利用の節にある。主体的・対話的で深い学びになるよう工夫されている。(1年p.7~9, 231, 232)</p> <p>○章の扉に実生活に即した課題を取り上げたり(1年p.124, 125)、キャリア教育の視点を多く取り入れたりするなど工夫のあるよい教科書である。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 数 学 】 2 / 4

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
E	<p>○関連する小学校の内容や前学年の内容を「ふりかえり」として載せ、学習がスムーズに進めることができるよう配慮されている。(2年p.69)</p> <p>○章末の確認問題を基本、応用、活用と分けたり、巻末に復習問題や総合問題を取り上げたりすることで、個に応じて学習できるよう工夫されている。(3年p.39~41, 268~283)</p>	<p>○「平面図形」では、「いろいろな角度の作図」として、90°の作図を考え、その後、角度に注目して基本の作図を学習するように構成されている。(1年p.168~176)</p> <p>○基本の作図を学習した後、「平行線と面積」を扱っている。(1年p.177, 178)</p>	<p>○本文中の「TeaBreak」では、数学用語について詳しく解説し、興味・関心を高めることができるよう工夫されている。(1年p.101)</p> <p>○立体の投影図、多角形の外角の和、三平方の定理の証明ではページの右上に関連する図を載せ、興味・関心を高めるよう工夫されている。(1年p.199~219)</p>	<p>○1年間の学習を振り返り、数学を考える際に有効な考え方をまとめている。(1年p.262, 263)</p> <p>○章の学習後「できるようになったこと」を具体的にチェックする欄や「さらに学んでみたいこと」を書く欄が設けられており、学びを振り返ることができるよう工夫されている。(1年p.163)</p>	<p>○各学年でSDGsが取り上げられており、数学を活用して社会的な課題や環境問題に取り組む例がグローバルな視点で示されている。(2年p.216~218)</p> <p>○全学年の最初に「数学の力」というページを設け、数学を活用して社会で活躍している人のインタビュー記事を取扱っている。</p>	<p>○全学年、巻末にはプログラミングを体験できる学習内容が載せてある。</p> <p>○全学年巻末付録としてホワイトボード用のペンで書いて消せるアイデアボードが付いている。</p>	<p>○「どんなことがわかったかな」をまとめた後、さらに考えてみたいことや新たに見つけた疑問につながるように「次の課題へ！」が設けられている。(3年p.27)</p> <p>○導入問題であるQに「見方・考え方」を設定し、考える際の重要な視点を示している。(3年p.46)</p> <p>学習目標の明記や二次元コード利用などの工夫がされたよい教科書である。</p>
G	<p>○章の前には「～を学習する前に」が設けられ、既習事項の確認とこれからの学習への準備ができるよう工夫されている。(2年p.42)</p> <p>○章末には「学習のまとめ」が設けられ、章で学習したことの要点が簡潔にまとめられており、その後で活用問題も含めた章末の問題に取り組むことができるよう配慮されている。(2年p.37~39)</p>	<p>○1年は、1章「整数の性質」を設け、素数と素因数分解について扱い、数の見方を広げたうえで、2章「正の数・負の数」につなげている。(1年p.13~22)</p> <p>○箱ひげ図と折れ線グラフを対比させ、それぞれのグラフの有用性について考察する機会を設けている。(2年p.211, 212)</p>	<p>○本文右端に「数学メモ」として学習に関連する話題が載せてあり、学習への興味・関心を高めることができるよう工夫されている。(2年p.147)</p> <p>○「学びのマップ」が設けられ、必要に応じて前学年の学習を振り返りながら学習を進めることができるよう配慮されている。(3年p.240~251)</p>	<p>○各学年とも第1章を終えたところでノートの効果的な活用例を示し、家庭学習で学びを深めることができるよう工夫されている。(3年p.44, 45)</p> <p>○「みんなに説明しよう」の間があり、自分の言葉で違いや気づいたことを説明することで、理解をより深めることができるよう配慮されている。(3年p.85)</p>	<p>○「数学の広場」では、数学が日常生活や他教科の学習に活用されていることがわかるコラムやインタビューが掲載されている。(3年p.254, 258)</p> <p>○さくいんでは、数学用語の英語表記が併記され、グローバル社会に対応できるよう工夫されている。(3年p.291)</p>	<p>○「数学的な考え方」がまとめてあり、折り込み部分はそのページを学習していても参照することができるよう工夫されている。(1年p.8~12)</p> <p>○「正の数・負の数」で魔方陣についての紹介として安野光雅美術館の作品が掲載されている。(1年p.45)</p>	<p>○章の扉のあと見開き2ページには、イラストや写真を用いた「Let's Try」があり、そこで身近な場面設定の課題が提示され、その課題をもとに学習が展開されるような構成になっている。(1年p.168, 169)</p> <p>○ページの右側に脚注をつけ、数学的な考え方や補充問題の掲載ページなどを載せ(1年p.52, 53)、主体的な学びができるような工夫がされているよい教科書である。</p>

選定に必要な資料

【 数学 】 3/4

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
L	<p>○章末の問題「学びをたしかめよう」では、「～を理解していますか。」ということばが示されており、学習したことを振り返ることができるよう配慮されている。(3年 p. 156, 157)</p> <p>○裏表紙からはじまる「自分から学ぼう編」にある「学びのあしあと」では、学習の記録ができるよう工夫されている。</p>	<p>○身の回りの問題を図形の学習内容を利用して解決することで、学習と実生活がつながることを実感できるように工夫されている。(2年 p. 152, 153)</p> <p>○箱ひげ図の長所と短所の両面が紹介されており、有用性についてより把握できるよう工夫されている。(2年 p. 178, 183)</p>	<p>○「数学ライブラリー」では、その章で学んだことに関連する話題を取り上げ、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。(3年 p. 85)</p> <p>○生徒が解決の見通しをもって取り組めるよう、キャラクターの吹き出しを用いて、本文を補ったり、生徒に気付きを促したりしている。(1年 p. 74)</p>	<p>○問題の後に、?マークで問題をひろげたり、深めたりする視点を示し、自分から問題を生み出す力を身に付けることができるよう工夫されている。(2年 p. 104)</p> <p>○ページ下部分に、学習場面で用いた数学的な見方・考え方を示し、その視点で学習を振り返ることができるよう工夫されている。(1年 p. 134)</p>	<p>○裏表紙からはじまる「自分から学ぼう編」の「学びをいかそう」では、実生活や他教科に関連した問題が扱われている。(1年裏 p. 27～56)</p> <p>○「学びのあしあと」では、章で働かせた数学的な見方・考え方を1つ取り上げ、数学の世界だけでなく生活場面でも役立つことができるよう工夫されている。(1年裏 p. 4～6)</p>	<p>○二次元コードが載せてあるページでは、動画やシミュレーションだけでなく、章末問題においてはヒントや解答、関連問題が示してある。(1年 p. 177)</p> <p>○「式の計算」で長さを表すもの一つとして、特急サンライズ出雲の写真と営業距離が掲載されている。(2年 p. 11)</p>	<p>○表表紙の「みんなで学ぼう編」から学習を進め、裏表紙の「自分から学ぼう編」で学びの記録を残したり深めたりできるよう構成されている。</p> <p>○章の後半には「～の利用」が設けられ、問題発見から解決まで流れをつくる活動が取り入れられている。(3年 p. 79～81)</p> <p>データの活用領域では、全学年で単元をとおして問題解決的な展開になるよう工夫されており、優れた教科書である。</p>
N	<p>○アルファベットの斜の書体の表が載せてあり、文字と式の学習がスムーズに進められるよう配慮されている。(1年 p. 63)</p> <p>○章の前には、「～の学習の前に(ふりかえり)」があり、確認しておきたい既習事項を振り返ることで、学習がスムーズに進められるよう配慮されている。(3年 p. 128)</p>	<p>○「おうぎ形の弧の長さ」と面積は「空間図形」の中で、円錐の展開図と関連させて扱い、おうぎ形で学習したことがすぐに生かせるよう構成されている。(1年 P. 210～215)</p> <p>○証明のしくみをまとめたページを見開きで設け、例を示しながらその手順を理解できるように工夫してある。(2年 P. 130, 131)</p>	<p>○章のはじめには、イラストや実際の写真とそれに関連した疑問が吹き出しで掲載され、これから始まる学習への興味・関心を高めることができるよう工夫されている。(1年 p. 157)</p> <p>○作図では、ゲームの場面を設定し、巻末の付録も使いながら、操作活動を取り入れて楽しく学習に取り組めるよう工夫されている。(1年 p. 168, 169)</p>	<p>○裏表紙に「学びの自己評価」を載せ、数学の学習全体をとおして大事にしたいことを確認できるよう工夫されている。</p> <p>○Noteには、数学特有の書き方など、ノートを取るときの具体的な注意点が書かれている。(1年 p. 129)</p>	<p>○「さがしてみよう」「やってみよう」など章の内容に関連する活動を取り上げ、数学と実生活とのつながりが実感できるようにしている。(3年 p. 203)</p> <p>○巻末の「数学旅行」では、実生活や他教科などに関する内容を取り上げ、数学の有用性を感じられるようにしている。(3年 p. 233～242)</p>	<p>○巻末では、領域ごとに内容のまとめが掲載されており、学びの連続性を確認することができる。(3年 p. 284～291)</p> <p>○「一次関数」では、ダイアグラムの学習の中で、山陰本線の写真が掲載されている。(2年 p. 101)</p>	<p>○全学年に別冊「探究ノート」がついており、本冊を学んでから内容を深めたり総合的な問題に取り組んだりすることができるよう工夫されている。(2年 p. 31)</p> <p>○数学的活動を意図した場面では、数学的な見方・考え方を働かせて解決に向かう姿を対話形式で掲載(2年 p. 116)するなど、様々な考え方に触れられるよう工夫されたよい教科書である。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 数学 】 4 / 4

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
○	<p>○見開き2ページを1つの小節とし、学習のめあてを簡潔に示し、見通しをもって学習できるよう工夫されている。(3年P18, 19)</p> <p>○各章の前に「次の章を学ぶ前に」の問題があり、既習事項の確認と次の学習への準備ができるよう配慮されている。(2年p. 35)</p>	<p>○「データの分布と確率」では、データを捉える一つの方法として確率を考へることもできるよう工夫されている。(2年p. 162~190)</p> <p>○折り込みページにデータを掲載し、それを開いて学習することで、後のページの学習で活用しやすいよう工夫されている。(1年p. 227)</p>	<p>○「数学のたんけん」では、学んだ内容に関連した話題を載せ、知識を補充しながら興味・関心を高めることができるよう工夫されている。(3年p. 183)</p> <p>○巻末の「ステップアップ」では、例題、解答例とその解説、さらに例題の考え方を生かして解決する問題が掲載され、生徒が自分で学習を進めることができるよう工夫されている。(3年p. 250, 251)</p>	<p>○「証明の方針」を掲載し、証明の見通しがもてるよう工夫されている。(3年p. 34)</p> <p>○「誤答に注意」で誤答を取り上げたり、「まちがえやすい問題」でしっかり考えさせたりすることで、理解がより深められるよう工夫されている。(1年p. 49, 147)</p>	<p>○「身近なことから」という小見出しがついており、学んだことと社会の関連性がわかるよう工夫されている。(1年p. 157)</p> <p>○巻末に「プログラムと数学」を設けてあり、プログラミング的思考の育成にも配慮されている。(2年p. 204, 205)</p>	<p>○「WEBマーク」があるページでは関連したデジタル資料がある。(1年p. 35)</p> <p>○「方程式」の速さの問題で、隠岐郡のフェリーの写真が掲載されている。(1年p. 122)</p>	<p>○切り取ってノートに貼ることもできる「対話シート」が付録で添付されており、対話的に学習を深めることができるよう工夫されている。(1年p. 58, 59)</p> <p>○学習過程で働かせる数学的な見方・考え方を「大切な見方・考え方」として本文右に示すことで(3年p. 105)、意識して繰り返し見方・考え方を働かせることができるよう工夫された、よい教科書である。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 理科 】 1 / 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
A	<p>○分量は、1年105時間分、2年140時間分、3年140時間分となっている。発展的な学習内容の記述は、1年3.75頁分、2年12.75頁分、3年17.25頁分となっている。</p> <p>○発展的な学習内容にマークがされており、必修の内容との区別が明確になるよう工夫されている。</p>	<p>○見開き2ページごとに授業1時間となるよう構成されており、生徒が見通しをもった学習ができるよう工夫されている。</p> <p>○章の始めと終わりに「Before&After」があり、見通しをもって学習に取り組んだり、振り返りができたりするよう工夫されている。</p>	<p>○節の導入に、身のまわりの事象の中から生徒が課題を発見する場面が設けられており、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習できるよう工夫されている。(1年p.156)</p> <p>○科学史のコラムや単元末の科学読み物紹介があり、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。(2年p.29)</p>	<p>○探究のプロセスと自分が行う言語活動が示されており、生徒が主体的に探究的な学習に取り組めるよう工夫されている。(1年p.2~4, 152~155)</p> <p>○隠岐ジオパークと山陰海岸ジオパーク(1年巻末)、雲南市のたたら製鉄(2年p.61)、安来市の和鋼博物館(2年p.306)など、島根県の自然や校外施設が紹介されている。</p>	<p>○学習している内容と関連の深い他教科の学習内容が明示されており、深い理解につながるよう工夫されている。(3年p.150)</p> <p>○コラム「つながる科学」により、学習内容と日常生活や社会との関連が分かるよう工夫されている。(3年p.81)</p>	<p>○デジタルコンテンツが多く用意され、シミュレーションによりイメージが苦手な生徒のつまずきを解消できるよう工夫されている。(1年p.161)</p> <p>○実験事故防止の観点から、ガスバーナーを使用する実験の準備物に保護メガネが追加されるとよい。</p>	<p>○A4 スリム判の紙面1頁に探究の流れ(課題や仮説)が収まることで、探究の流れや目的意識をもって観察・実験ができるよう工夫されており、特に優れた教科書である。</p>
B	<p>○分量は、1年100時間分、2年131時間分、3年136時間分となっている。発展的な学習内容の記述は、1年9頁分、2年12頁分、3年21.25頁分となっている。</p> <p>○単元のはじめに「これまでに学習したこと」、「これから学習すること」があり、既習事項を振り返り、見通しをもった学習ができるよう工夫されている。(2年p.8, 9)</p>	<p>○「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「結果から考えよう」「振り返ろう」のマークを使うことで、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する学びの過程が分かりやすいよう工夫されている。また、育成する資質・能力を各学年で重点化することで、3年間を通して育成できるよう工夫されている。(1年p.4, 5)</p>	<p>○生徒に親しみやすい身のまわりと関連があるような写真や資料等が掲載されており、関心を高められるよう工夫されている。(1年p.140, 141)</p> <p>○「やってみよう」では身近なものを利用して確認できる発展的な観察や実験が紹介されており、生徒の探究意欲を高められるよう工夫されている。(2年p.18)</p>	<p>○巻頭の「理科の学習の進め方」において、教科書の流れに沿って、理科の探究の過程をつかめるよう工夫されている。(1年p.4, 5)</p> <p>○巻末の「探究の進め方」において、探究の過程が具体的な課題をも確認できる発展的な課題に探究するために必要な資質・能力が育成できるよう工夫されている。(1年p.268~273)</p>	<p>○「くらしの中の理科」において、学習内容とつながりのある身のまわりの内容が掲載されており、学びに向かう資質・能力を育成できるよう工夫されている(2年p.206)</p> <p>○単元に特徴的な「理科の見方」につながる課題を示すことで、理科の見方・考え方を生徒が自在にはたらかせることができるよう工夫されている。(1年p.33)</p>	<p>○東京2020オリンピック・パラリンピックを資料として取り上げるなど、興味・関心を社会に広げられるよう工夫されている。(1年p.129)</p> <p>○山陰海岸ジオパークが掲載されており、地域に誇るべき自然環境があることを実感できるようになっている。(1年p.280)</p>	<p>○分量・写真・イラストの配置が考えられており、とても読みやすい。</p> <p>○身近な科学的事象について多く取り上げており、生徒の興味・関心を高めるだけでなく、日常生活と学習とを強く結びつけるような内容や構成となっている優れた教科書である。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 理科 】 2 / 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
E	○分量は、1年77時間分、2年85時間分、3年84時間分で、探究活動のための予備時間を1年28時間、2年55時間、3年56時間とっている。発展的な学習内容の記述は、1年5頁分、2年6.5頁分、3年8.5頁分となっている。○単元のはじめに「ふり返ろう・つなげよう」があり、既習事項の確認ができるよう工夫されている。(1年p.19)	○1年生の各単元の最初には「日常の出来事から、不思議を見つける場面」が示されており、1年生で重点的に身に付けるべき資質・能力である「問題発見」を育成できるよう工夫されている。○「探究」では、課題が赤字で表記されており、何を明らかにしたいかが分かりやすくなっている。(1年p.135)	○観察・実験のページでは、実物写真で方法が説明されており、実際に操作する際に手元の操作と比較しやすいよう工夫されている。(1年p.93) ○「やってみよう」や「サイエンスカフェ」の写真は効果的に用いられており、生徒の興味・関心を高められるよう工夫されている(1年p.122)	○『理科のトリセツ』では、「なぜ理科を学ぶの?」「理科で何を学ぶの?」「理科を学ぶとどうなるの?」が掲載され、理科学習の必要性や有用性について示されている。また、「探究の進め方」に探究の過程を分かりやすく示すことで、科学的に探究するために必要な資質・能力が育成できるよう工夫されている。(1年p.6,7)	○章のはじめや観察・実験ページの「Can-Do List」において、学習をとおして「できるようにになりたい目標」「しておかなければならないこと」を確認しやすくなっており、目的意識をもって活動できるよう工夫されている。(1年p.22, p.34)	○各学年の巻末にホワイトボードのページがあり、対話的な学習を支援するためのツールとして活用できるよう工夫されている。○QRコードから、レポートの書き方や実験結果、読み物資料等を閲覧できるようになっている。(1年p.123)	○巻頭の「理科のトリセツ」が充実しており、理科を学習することの意義や探究の進め方を理解して主体的に学習できるよう工夫されている。○見通しや目標を明確にもって学習に取り組み、振り返りを通して自分の成長を生徒自身が実感しやすいよい教科書である。
G	○分量は、1年105時間分、2年140時間分、3年140時間分となっている。発展的な学習内容の記述は、1年11.5頁分、2年16頁分、3年17.8頁分となっている。○各単元の始めに既習内容の振り返りとこれからの学習について簡潔に示されている。(1年p.79)	○章の最初の「これまでの学習」や本文中の「思い出そう」により、既習事項の確認がしやすいよう工夫されている。(1年p.83) ○発展的な学習内容にマークがされており、必修内容との区別を明確にし、発展先の高校の基礎科目などがわかるよう工夫されている。	○各単元導入では、ダイナミックな写真で身近な事物・現象が紹介され、各単元最初では既習事項を確認する「これまでの学習」と「学習前の私」により、これからの学習へ期待がもてるよう工夫されている。	○「探究の進め方」が巻頭に折り込みとして綴じられており、本文ページを開いた状態で、いつでも対照ができるよう工夫されている。○「要点をチェック」や「要点と重要用語の整理」「基本問題」「学年末総合問題」と段階的に基礎・基本の定着を図っている。(3年p.139, 182~185, 330)	○巻末に「理科で使う算数・数学」などが設けてあり他教科との連携が意識できるよう工夫されている。(2年p.318, 319) ○「自由研究」の紹介や「校外の施設を活用しよう」など学びをさらに深めることができるよう配慮されている。(1年p.289~293)	○1年生の「生物カード」、2年生の「原子カード」など操作しながら学習を深めることができる。○写真や図が多く、生徒の興味・関心を高められるよう工夫されており、また、文字が13ポイントと大きく配慮がされている。	○写真や図が豊富にあり、また、「ハローサイエンス」など日常生活と学習内容の関連や発展的な学習についてわかりやすい資料が多くあり、生徒の興味・関心を高められるよう工夫されているよい教科書である。(2年p.150)

選 定 に 必 要 な 資 料

【 理科 】 3 / 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
L	<p>○分量は、1年99時間分、2年123時間分、3年129時間分となっている。発展的な学習内容の記述は、1年10.5頁分、2年11.5頁分、3年19頁分となっている。</p> <p>○章導入に「つながる学び」があり、小学校理科の内容や既習事項を確認したうえで新たな学習に取り組めるよう工夫されている。(1年p.154)</p>	<p>○実験観察の最後に「探究のふり返し」を行うことで、妥当性の検証をし、新たな課題へつながるよう工夫されている。(3年p.127)</p> <p>○単元導入で「学ぶ前にトライ！」と同じ問いを単元後に「学んだあとにリトライ！」として学習を振り返り学びを実感できるよう工夫されている。(2年p.71)</p>	<p>○単元導入の「科学にアクセス」ではQRコードにより映像で学習内容に対する関心を高められるよう工夫されている。(3年p.178)</p>	<p>○各単元に1つの「探Q実験」が設定され、巻末の「探Qシート」を活用することにより、探究の過程を生徒が自らたどれるよう配慮されている。(2年p.35～37)</p> <p>○「基本のチェック」「学習のまとめ」「力だめし」「学年末総合問題」と段階的に学習内容の定着を図っている。(2年p.17, 60～65, 290)</p>	<p>○「算数・数学との関連コーナー」や他教科との関連に気付かせる内容が示されている。(2年p.93, 98)</p> <p>○「部活ラボ」「お仕事ラボなど」実生活との関連が伝わる内容になっている。(2年p.98, 121)</p>	<p>○紙面中のQRコードからデジタル教材へリンクし、学習を広げたり深めたりできるよう工夫されている。(3年p.178)</p> <p>○1年の文字サイズは同社小学校理科6年と中学校理科2・3年の中間サイズとすることで、中1ギャップに対応している。</p>	<p>○各所に二次元コードが掲載され、生徒が興味関心を高め、個人での学習を進める際にも有効に活用ができるよう工夫されている。また、「深めるラボ」や「ひろがる世界」などで理科の学習の有用性が伝わるよう工夫されているよい教科書である。(2年p.278～289)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 音楽（一般） 】 1/1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
G	<p>○「Active!」として各領域の活動例が示されており、主体的に話し合う活動ができるよう工夫されているが、取り扱う楽曲には疑問が残る。</p> <p>○楽曲の学習に関して、教科書への記述欄が多く、ノートの要素が強い。その分紙面が狭くなっている。</p>	<p>○テーマごとに楽曲が配置され、学びやすいように工夫されているが、選曲のジャンルの幅が狭い。</p>	<p>○巻頭に鑑賞教材の作曲家のエピソードを紹介し、生徒が興味を持ち、学習意欲が高まるよう工夫されている。</p> <p>○楽典や楽器の紹介などに3ページの見開きが使われ、一目で全体をとらえたり、他と比較したりすることがしやすいように工夫されている。</p>	<p>○「ふるさと」は、学年に応じた音域で合唱ができるように編曲されている。</p> <p>○「歌のアルバム」には、学年に応じた音域での合唱ができる曲が掲載されている。</p>	<p>○「私たちの暮らしと音楽」として、音楽教育や著作権について紹介し、生活の中での音楽の役割や扱い方について工夫されている。</p> <p>○「CM ソングをつくろう」では、創作活動を通して、地域の名物や名所を紹介するなど、総合的な学習の時間等との関連を図ることができるように工夫されている。</p>	<p>○「学びのユニット」では、学びのねらいと活動、さらに学びを深めるための楽曲や活動等が示されており、生徒の学びの手がかりとなるよう工夫されている。</p> <p>○目次のレイアウトが分かりづらく、目的のページが探しにくい。</p>	<p>○「何が同じで、何が違う？」では日本と諸外国の音楽を比較し、それぞれの特徴を見つけやすいような工夫がなされている。</p> <p>○楽曲に関する情報が数ページにわたって分散しており、授業場面では使いにくい。</p>
H	<p>○「深めよう！音楽」として、活動の流れや思考を促すヒント、表現へのつながり等の内容が示され、活動を深めることができるよう工夫されている。</p> <p>○楽曲に関して、取り扱う楽曲の難易度や分量が適切である。</p>	<p>○歌唱、創作、鑑賞の3分野の教材を幅広いジャンルから選択できるように、教材配列が工夫されている。</p> <p>○テーマごとに楽曲が配置され、学びやすいように工夫されている。また、学年にふさわしい選曲がなされている。</p>	<p>○教科書の中に使われている写真や絵が美しく、臨場感にあふれ、生徒の興味・関心を高めたり、豊かな感情を育てたりすることができるように工夫されている。</p> <p>○表紙や挿絵のイラストの質が高く、生徒の興味を引くように工夫されている。</p>	<p>○「ふるさと」は、学年に応じた音域で全校合唱ができ、学校の実態に応じて活用できるよう配慮されている。</p> <p>○「歌い継ごう日本の歌」「心通う合唱」には、学年に応じた音域での合唱ができる曲が幅広く掲載されている。</p> <p>○「郷土の祭りや芸能」として、裏表紙に出雲神楽の写真が掲載され、地域の音楽文化を大切にすることを育むことができるように工夫されている。</p>	<p>○「生活と社会の中の音楽」では、音楽の役割や音楽に関わる仕事、SDGsの取組が紹介され、総合的な学習の時間等との関連を図ることができるように工夫されている。</p> <p>○「社会を映し出す音楽」が掲載されており、教科横断的な学びができるように工夫されている。</p>	<p>○「My Melody」「Let's Create」では、生徒が意欲をもって取り組みやすいような工夫が随所になされている。</p>	<p>○教科書全般にわたって、学校現場の実情に即した教材や実践例が豊富に取り上げられている。また、内容がシンプルで分かりやすく、3年間の系統性も明確である点が優れている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 音楽 (器楽) 】 1/1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
G	○「演奏の仕方を身につけよう」では、基礎的な奏法の習得のための解説が丁寧にされている。 ○「合わせて演奏しよう」では、多くの楽曲が掲載されているが、小節数が多く難易度も高い。	○基礎的な技術が学べるよう、教材の配列が工夫されているが、楽譜の掲載量が多く、生徒が達成感を感じ取りにくい。	○「何が同じで、何が違う？」では、楽器の演奏の聴き比べを通して、楽器の特徴について話し合いながら学ぶことができるように工夫されている。 ○教科書（一般）で学んだ楽曲が器楽演奏用に編曲されており、学習を一層深めることが期待できる。	○「Let's Play!」「Let's Try!」では、各楽器の特徴を生かしながらアンサンブルを楽しむことができるように、幅広いジャンルから選曲できるような配慮がなされている。	○「吹く楽器の仲間たち」「弾く楽器の仲間たち」では、楽器の背景にある文化や伝統などについて調べる発展学習に取り組むことができるよう工夫されている。	○「リコーダー運指表」「ギター&キーボードコード表」に3ページの見開きが使われ、一目で全体をとらえることができるように工夫されている。 ○目次が見つづらく、教科書（一般）にあるような「学びのユニット」の掲載がない。	○幅広いジャンルの楽曲が多数掲載されており、学校や生徒の実態に応じて選曲したり、指導者の創意工夫を活かしたりすることができるよう配慮されている。
H	○「演奏の仕方を身につけよう」では、基礎的な奏法の習得のための解説が写真やイラストを用いて丁寧にされている。	○各楽器の導入に、慣れ親しんだ楽曲が使われているため、取り組みやすい。 ○基礎的な技術が段階的に学べるよう、教材の配列が工夫されている。	○教科書（一般）で学んだ楽曲や身近な楽曲が器楽演奏用に編曲されており、生徒が親しみをもって取り組むことができるように工夫されている。 ○生徒の興味・関心が高まるように、見やすいレイアウトや色づかいへの工夫が見られる。	○「アンサンブル」「楽器で Melody」では、鑑賞教材や身近な楽曲が取り上げられており、合奏を通して表現の楽しさを学ぶことができるよう工夫されている。	○「アンサンブルセミナー」では、アーティキュレーションの工夫やパートの役割、曲の構成など表現の工夫における視点が示されており、創意工夫しながら音楽表現を深めていくことができるよう配慮されている。	○様々な種類の打楽器の基本的な奏法が写真とともにわかりやすくまとめられている。 ○目次が見やすく、教科書（一般）と同様に、「中学生の器楽の学習内容」についても掲載されている。	○比較的平易な楽曲が取り上げられており、内容もシンプルで分かりやすく、段階的に資質・能力を高めることができるよう工夫されている。 ○「中学生の器楽の学習内容」がまとめられ、音楽科で身につける資質・能力と、その学習の支えとなる音楽を形づくっている要素との関連が示されている。

選 定 に 必 要 な 資 料

【 美術 】 1 / 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
D	<p>○2・3年生の教科書が1冊にまとめられている。</p> <p>○見開きページを活用した構成の工夫（1年、p. 25, 26、p. 46, 47）が見られる。</p> <p>○学習のねらいが新学習指導要領の観点ごとに示され、目標をもって取り組める配慮があり、優れている。</p>	<p>○原寸大で鑑賞できる資料には「原寸」の表示をする工夫があり、実物を実感でき、優れている（2・3年 p. 19, 36）。</p> <p>○巻末に学習を支える資料のページがあり、学習の視点や技法、補助教材として活用できる工夫のある構成となっている。</p>	<p>○中1 ギャップの解消（小学校図画工作から中学校美術への名称変更に伴う移行については、各学年の教科書とも工夫が見られる。</p> <p>○学習のポイントや生徒のコメントを示すことで、中学生にとって身近な感じ、取り組むことのできる工夫がある。</p>	<p>○表現・鑑賞活動に関する資料が豊富である。</p> <p>○A4ワイド判により大図版化が図られており優れている。</p> <p>○美術作品に直接触れる機会の少ない本県の中学生にとって、多様な表現が担保された美術資料としての優れた価値がある。</p>	<p>○美術が教科学習にとどまらず、社会の中で生かされていることへの視点が、身近な建築作品に焦点をあてる（2・3年 p. 2~4）ことで提示されている。</p> <p>○生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育む資料（2・3年 p. 6, 7）がわかりやすく示されている。</p>	<p>○QRコードが付加されており、関連情報の入手が容易になっている。</p> <p>○「美術の用語」や「他教科との関連」などのマークが多用されており、作品や資料についての理解を進める工夫があり、優れている。</p>	<p>○A4ワイド判により大図版化が図られたことで多様な資料が掲載され、特に工芸資料が多数掲載され、優れている（1年 p. 44~49, 2・3年 p. 80~91）。</p> <p>○学習内容に対応したマークを多用することで、生徒が主体的に学べる工夫となっており、優れている。</p>
I	<p>○2・3年生の教科書が1冊にまとめられている。</p> <p>○学習のねらいが示され、目標をもって取り組める配慮がある。</p> <p>○各題材において参考作品の「鑑賞」活動から「表現」活動へと統一されており表現と鑑賞が一体のものとして取り扱われている。</p>	<p>○原寸大で鑑賞できる資料を掲載している。</p> <p>○1年教科書の巻末に学習を支える資料のページがあり、学習の視点や技法、補助教材として活用できる。</p> <p>○日本の浮世絵と西洋美術の関連や、絵巻物と漫画の表現の関連を理解させる工夫が見られる。（2・3年 p. 26, 27, 36, 37）</p>	<p>○中1 ギャップの解消（小学校図画工作から中学校美術への名称変更に伴う移行については、各学年の教科書とも工夫が見られる。</p> <p>○同じ中学生の制作にあたってのコメントや制作過程が掲載されることで、親近感を感じ、取り組むことのできる工夫がある。</p>	<p>○表現・鑑賞活動に関する資料が豊富である。</p> <p>○島根県立美術館のロゴマークが、「印象に残るシンボルマーク」（1年 p. 46）に採用されている。</p> <p>○美術作品に直接触れる機会の少ない本県の中学生にとって、多様な表現が担保された美術資料としての価値がある。</p>	<p>○「形や材料を比べてみよう」（1年 p. 50, 51）では、様々なカップを示すことで日用品の中にも美術との関わりがあることに気付かせる工夫がある。</p> <p>○美術が社会の中で生かされている視点が、プロジェクトマップ等々の環境芸術に焦点をあてる（2・3年 p. 80, 81）ことで提示されている。</p>	<p>○QRコードが付加されており、関連情報の入手が容易になっている。</p> <p>○「発想をひろげる」（2・3年 p. 76, 77）では、アイデアから制作までつなげる思考の流れが具体的に提示されている。</p>	<p>○思考の過程をわかりやすく具体的に示すことで、主体的な学びとなる工夫が見られる（2・3年 p. 76, 77）。</p> <p>○各題材において鑑賞から表現へと一体性をもたせる構成が貫かれており、相互に関連づけた学習ができる工夫がある。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 美術 】 2 / 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
○	<p>○生徒の成長に寄り添うように3分冊で構成され、ページ数が増えることでより多くの資料が活用できる。</p> <p>○見開きページ（1年 p. 20, 21、2・3年下 p. 14, 15）を活用し、作品のダイナミックさが伝わる優れた内容となっている。</p> <p>○学習のねらいが新学習指導要領の観点ごとにマーク付きで示され、より優れている。</p>	<p>○原寸大で鑑賞できる資料には「原寸大」の表示（2・3年上 p. 23、2・3年下 p. 24等）があり、実物の大きさが体感できるよさがあり、より優れている。</p> <p>○巻末に学習を支える豊富な資料のページがあり、学習の視点や技法、補助教材、写真資料として活用できる工夫のある構成となっており、より優れている。（1年 p. 68, 69）</p>	<p>○中1ギャップの解消（小学校図画工作から中学校美術への名称変更に伴う移行については、時系列に沿った提示の工夫が見られ（1年 p. 6, 7）、より優れている。</p> <p>○生徒の興味・関心を喚起するタイトルとサブタイトルが示され、生徒がイメージしやすい工夫があり、より優れている。</p>	<p>○表現・鑑賞活動に関する資料が豊富である。</p> <p>○全都道府県の伝統工芸品等様々な作品が掲載されており、生徒が自分たちの住む地域に関心を持つよう工夫されている。</p> <p>○「祭りを彩る造形」（1年 p. 51）の学習では、本県津和野町の鷲舞神事が掲載されている。</p>	<p>○美術が教科学習にとどまらず、従来は取り扱われなかった祭りや都市デザインに焦点をあてている点が、特に優れている。</p> <p>○「社会に生きる美術の力」（2・3年下 p. 58, 59）として、現代社会における美術の可能性が、活躍する人物紹介を通して示されており、優れている。</p>	<p>○QRコードが付加されており、関連情報の入手が容易になっている。</p> <p>○巻頭の見開きページで教科書の活用の仕方について写真やマークが示されることで、生徒が主体的に教科書を活用できる工夫があり、特に優れている。</p>	<p>○A4ワイド判かつ3分冊により、多彩な美術作品が掲載されており、より優れている。なお、見開きページを活用した作品のダイナミックさの伝わる構成が見られ、特に優れている。</p> <p>○現代社会の今日的な課題であるSDGsや、社会に生きる美術の力を取り上げることで、美術の可能性について示されており、特に優れている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 保健体育 】 1 / 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
A	<p>○基本的な学習内容が精選され、妥当な分量である。</p> <p>○各章の最初に、小学校・中学校・高校での学習内容が示されており、系統的に見通しをもって学習できるよう工夫されている。また、他の教科との関連を示す工夫されている。(p. 5, 49)</p> <p>○本文や資料が見やすいよう、各ページの余白を広く工夫されている。</p>	<p>○「見つける」で課題をつかみ、「課題の解決」、「活用する」、「広げる」と学習の流れを示すことで、主体的・対話的で深い学びに繋がるよう工夫されている。(p. 6, 7)</p> <p>○「活用する」では、思考力・判断力・表現力を育むために必要な問いとなっている点が工夫されている。(p. 9, 11, 13, 15)</p>	<p>○キャラクターが学習のヒント・資料説明・発問などを行うことで、生徒が興味・関心をもちながら学習できるよう工夫されている。(p. 10, 12, 13)</p> <p>○学習内容に関連する読み物資料・章末資料を掲載し、興味・関心を高め、学習内容への理解が深められるよう工夫されている。(p. 16, 17, 21, 33)</p>	<p>○各時間の「広げる」において、広い視野や自分の身の回りの出来事等に照らし合わせ、意見をまとめ、発表する活動を通して、思考力・判断力・表現力を高められるよう工夫されている。(p. 37, 101)</p> <p>○今日的課題への対応が強調されている。【防災】【食育】【性の多様性】【パラポーツ】(p. 44, 74, 75, 口絵)</p>	<p>○「活用する」、「広げる」において、身近な地域の実態や日常生活における気づきや体験と関連付けて学習できるように工夫されている。(p. 35, 63, 67, 71)</p> <p>○章末資料の工夫および充実により、興味・関心の更なる喚起、実生活との関連付けに繋がっている。(p. 84~88)</p>	<p>○学習内容に関連する動画やシミュレーション、他教科との関連などをインターネットで学べるコンテンツが用意されており、学習の支援や理解度を高めたり、深めたりする内容が優れている。(p. 1)</p> <p>○学習の流れが、マーク・表記等で工夫されている。(口絵9)</p>	<p>○本文・資料をはじめ、「見つける、課題の解決、広げる」の表記により授業の流れがつかみやすくなっているとともに、資料性が高く学びの意欲が高まり、学習内容の定着や主体的・対話的で深い学びにつなげやすく配慮してある。</p> <p>○中学生の保健体育の学習理解を促進する教材として優れている。</p>
B	<p>○基本的な学習内容が精選され、妥当な分量である。</p> <p>○各章の最初に、小学校・中学校・高校での学習内容が示されており、系統的に見通しをもって学習できるよう工夫されている (p. 3, 15)。</p> <p>○左ページが本文内容、右ページが関連資料になっており、学習内容を整理しやすいように配慮されている。(p. 4)</p>	<p>○関連した内容を学習するページを示す「リンク」欄が設けられ、学習内容のつながりを意識した学習ができるように配慮されている。(p. 4)</p> <p>○各時間のタイトルの右に、「学習のねらい」として目標を示すことで、学習内容に見通しをもてるよう工夫されている。(p. 4)</p>	<p>○資料写真や資料などカラフルな色づかいと大きめに描写をすることにより、生徒の目を引き、興味・関心をひくように工夫されている。(p. 4, 5)</p> <p>○ミニ知識やトピックスに身近な話題を取り上げることで、生徒の興味・関心をひくよう工夫されている。(p. 8, 40)</p>	<p>○各時間に「やってみよう」、「話し合ってみよう」、「活用して深めよう」が設定してあり、資料を活用して対話を行い、学びを深める手立てとして位置づけられている。(p. 33, 39, 40)</p> <p>○今日的課題への対応が資料写真によって、視覚的に強調されている。【防災】【健康問題】(p. 100~103)</p> <p>(p. 144~145)</p>	<p>○各時間に設定された「やってみよう」、「話し合ってみよう」、「活用して深めよう」を通して、実生活に生かす方法を考える資質と能力の育成に繋がるよう工夫されている。また、「活用して深めよう」では、自分を含め自分たちという視点で考えられるよう、発問が工夫されている。(p. 19, 21, 23, 25)</p>	<p>○「中学校保健体育Web」があり、関連動画や資料を活用して学習できるように工夫されている。(口絵16)</p> <p>○口絵が充実しており、生徒の興味・関心を高める教科書の構成となっている。(口絵1~17)</p> <p>○資料に2018年版を活用している。(p. 35, 39)</p>	<p>○本文と資料を左右に分けたことで、見やすい教科書の構成となっている。本文と資料を左右に分けたことで、資料は大きめだが、本文は凝縮されているようである。そのことによる探究心がわく、教科書の構成となっている。</p> <p>○中学生の保健体育の学習理解を促進する教材として優れている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 保健体育 】 2 / 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
K	<p>○基本的な学習内容が精選され妥当な分量である。</p> <p>○各章の最初に、小学校・中学校・高校での学習内容が示されており、系統的に見通しをもって学習できるよう工夫されている。(p. 16)</p> <p>○文字数が少なく、コンパクトにまとめられている。資料や写真が多く使われ、視覚的に理解がしやすいように工夫されている。(p. 6, 7)</p>	<p>○「この教科書の使い方」で授業の流れが横流れで記載されたり、実際の教科書ページで説明されたりしているため、具体的な説明で利用しやすいよう工夫されている。(口絵9, p. 1)</p> <p>○「章のまとめ」で、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「課題に向かって」と分けた問題があり、各観点に沿った振り返りと、「学習の振り返り」もできる。(p. 15)</p>	<p>○「きょうの学習」が問いかけであり、疑問を感じ、学習に入りやすくしてある。(p. 7)</p> <p>○冒頭の「課題をつかむ」で男女の会話により、導入時の興味・関心が高められるよう工夫してある。(p. 6)</p> <p>○「事例」、「コラム」に興味・関心の高いものが掲載され、学習意欲を高められる工夫がなされている。(p. 9, 18, 21)</p>	<p>○1年生の「心身の発達と心の健康」に時間を多くあて、ストレスに対する対応が重点的に学べるよう工夫されている。(p. 48~55)</p> <p>○「クローズアップ」として、体力向上についての要素を詳しく示し、体力を高める運動例が分かりやすく示してある。(p. 62, 63)</p>	<p>○「学習のまとめ」に「確認しよう・発表しよう・生かそう」という記載や直接記入ができる工夫と、課題も生活場面で活かせるように考えられている。(p. 7, 9, 11)</p> <p>○「章のまとめ」に「学習の振り返り」があり、自己の取組の評価ができる工夫がされている。(p. 15)</p>	<p>○「web 保体情報館」にアクセスすることで外部サイトも利用でき、より詳しく、深い学びができるよう工夫されている。(p. 1, 8)</p> <p>○目次に各学年単元内容、特集資料、コラム等の欄があり、教科書の利用や興味を高めている。</p>	<p>○全ての単元の最初にある写真に吹き出しがあり、写真を見る視点を利用し、見通しをもたせる工夫がある。(p. 5, 6)</p> <p>また、「関連」、「他教科」マークで他との関連が分かりやすい工夫がされている。(p. 30)</p> <p>○中学生の保健体育の学習理解を促進する教材として優れている。</p>
P	<p>○基本的な学習内容が精選され妥当な分量である。</p> <p>○小口の色分けインデックスにより、各学年、体育編、保健編が分かれ、視覚的にもとらえやすく、3年間の見通しがもてるよう工夫されている。</p> <p>○各章冒頭に学習内容に関連した写真を掲載し、学習内容に見通しをもちやすい工夫がなされている。(p. 14, 15)</p>	<p>○冒頭に「学習の目標」とキーワードが設けられており、興味・関心と見通しをもって学習できるよう工夫されている。(p. 16)</p> <p>○章末の「章のまとめ」では「振り返ろう・確かめよう・生かそう」により、学習の振り返りと深まりを補充している。また、直接記入できるよう工夫されている。(p. 25)</p>	<p>○各章に関連する「ひと」（最前線を知る）(p. 15) 等で人物の名言、言葉、紹介を掲載し、学習内容との関連が実感できる。</p> <p>○「課題をつかむ」で書き込みができ、授業に入りやすい工夫がしてある。(p. 28)</p> <p>○キャラクターの吹き出しや、各ページの「情報サプリ」により興味・関心を高める工夫がなされている。(p. 16)</p>	<p>○章末の「探求しようよ！」の配置で、学習内容の掘り下げや、発展的に学習ができる工夫がされている。(p. 22)</p> <p>○今日的課題の【性の多様性】、性的マイノリティに関する話題がコメントと説明入りで掲載されている。(p. 43)</p> <p>○個人の努力と社会的な取組が必要という、ヘルスプロモーションの視点を取り上げている。(p. 29)</p>	<p>○授業の終末には「まとめる・深める」があり、言語活動としての話し合いや発表、協働としての教え合い、学び合い活動ができるようにしてあり、学習のまとめと深まりができるとともに、実生活への活用が意識できるよう工夫されている。(p. 19)</p> <p>○ストレスへの対処について、体験的に身に付ける演習が用意されている。(p. 63, 64)</p>	<p>○各章の最初に「小学校で学習したこと」、「高校で学習すること」が記載され、中学校の学習の流れが理解できる。(p. 14, 16)</p> <p>○「教科書サイト」の利用で、詳しく、深い学びができるよう工夫されている。(p. 10, 24)</p> <p>○新体力テストの説明のほか、記録が記入できる。(p. 194)</p>	<p>○教科書に直接記入できたり、問題もあったり、保健編の時間が少なめに設定されており、各校の実態により、重点的な内容について複数時間扱えるなど、実態に応じて学習の計画が立てやすいように工夫されている。(p. 0 もくじ)</p> <p>○中学生の保健体育の学習理解を促進する教材として非常に優れている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 技術・家庭 (技術分野) 】 1/2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
A	<p>○知識、技能についての情報量が全体的に多く記載されているため、学習の深まりにつながる。(p. 24, 25)</p> <p>○巻頭に問題解決に向けてのプロセス(PDCAサイクル)が具体的にかかっている。また、学習の仕方や見方・考え方についてまとめている。(p. 2~17)</p>	<p>○設計、計画の例示が具体的で、参考にしやすい。(p. 118~125)</p> <p>○各内容ごとに問題解決の評価、改善・修正についての項目があり、チェックが具体的にしやすい。(p. 76, 77)</p>	<p>○各ページの下の欄外に技術の工夫としてコラムが記載されている。(p. 214)</p> <p>○巻末に学んだことを社会に生かす例示やコメントが記載されている。(p. 274, 275)</p>	<p>○新しい技術についての記載例が豊富である。(p. 198, 199, 260, 261)</p> <p>○問題を発見し、課題を設定する内容が充実している。(p. 38, 39)</p> <p>○実習中に安全に作業するための注意点がわかりやすく記載されている。(p. 54)</p>	<p>○学習のまとめが内容の章末にあり、資質・能力の確認ができる。(p. 86, 87)</p> <p>○実生活と学習をつなげる「社会の発展と技術」についての記載が充実している。(p. 252~256)</p>	<p>○調べやすいように爪が設けられている。</p> <p>○各内容の最初に他教科とのつながりが記載されている。(p. 138)</p> <p>○二次元コードが内容ごとにあり、ネットで動画が視聴できる。(p. 139)</p>	<p>○巻頭の問題解決のプロセスや内容ごとに評価、改善・修正ページがあり、問題解決学習にかかわる内容の記載が充実している。また、新しい技術や実生活へのかわりも明確に示しているため、興味・関心が高まる。他にも情報量が多いところがよい。このような点が特に優れている。</p>
C	<p>○情報量は少なめであるが、図や文字が大きかったり、余白があったりし、見やすさがある。(p. 14, 15)</p> <p>○巻頭に安全や教科書の使い方、技術で変わる生活についてまとめている。(p. 2~9)</p>	<p>○設計、計画の例示が具体的で、参考にしやすい。(p. 98~105)</p> <p>○各内容ごとに「問題を解決する工夫を考えよう」として問題解決について記載している。(p. 22, 23)</p>	<p>○各内容の章末に技人として、その技術にかかわりのある人を紹介している。(p. 263)</p> <p>○巻末に先輩からのキャリア視点でのアドバイスが記載されている。(p. 284, 285)</p>	<p>○技術の発展例が示されている。(p. 186, 187)</p> <p>○問題を発見するまでが記載されている。(p. 36, 37)</p> <p>○実習中に安全に作業するための注意点が記載されている。(p. 53)</p>	<p>○学習のまとめが内容の章末にあり、資質・能力の確認ができる。(p. 76, 77)</p> <p>○実生活と学習をつなげる「社会の発展と技術」についての記載が充実している。(p. 264~267)</p>	<p>○ハンドブックがあり、基礎的、基本的な知識、技能がまとめられている。(別冊)</p> <p>○E編があり、夢を叶える技術として統合的な問題解決として記載している。(p. 270~283)</p>	<p>○問題解決学習にかかわる内容や新しい技術や実生活とのかかわりについての記載がある。図や文字も大きく見やすい。別冊のハンドブックも使いやすい内容にまとめている。このような点が優れている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 技術・家庭 (技術分野) 】 2/2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
D	<p>○情報量は少なめであるが、図や写真、文字が大きかったり、余白があったりし、見やすさがある。(p. 28, 29)</p> <p>○巻頭に安全、学習の流れ、技術の見方・考え方、問題解決のプロセスについては漫画等で掲載されている。(p. 1～19)</p>	<p>○設計、計画の例示が具体的で、参考にしやすい。(p. 120～133)</p> <p>○各内容ごとに「学習を振り返ろう」として問題解決の振り返りを記載している。(p. 88, 89)</p>	<p>○巻末に日本各地の伝統的な技・材料・工芸等についてのMapが掲載されている。(p. 292～294)</p> <p>○各ページの下のカラムに豆知識としてコラムが記載されている。(p. 229)</p>	<p>○新しい技術についての記載がされている。(p. 196, 197)</p> <p>○問題の発見と課題の設定が記載されている。(p. 46, 47)</p> <p>○実習中に安全に作業するための注意点がわかりやすく記載されている。(p. 70)</p>	<p>○学習のまとめが内容の章末にあり、資質・能力の確認ができる。(p. 92, 93)</p> <p>○実生活と学習をつなげる「社会の発展と技術」について記載されている。(p. 262, 263)</p>	<p>○各内容の最初に他教科とのつながりが記載されている。(p. 141)</p> <p>○二次元コードがあり、ネットで動画が視聴できる。(p. 149)</p> <p>○各内容ごとに発展の歴史が記載されている。(p. 141)</p>	<p>○問題解決学習にかかわる内容や新しい技術や実生活とのかかわりについての記載が充実している。図や写真、文字も大きく見やすい。巻頭のガイダンスは漫画などもあり、興味・関心が高まる。このような点が優れている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 技術・家庭（家庭分野） 】 1/2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
A	<p>○内容は、B「衣食住の生活」C「消費生活・環境」A「家族・家庭生活」の順番で構成され、指導要領の順と違う。</p> <p>○基礎的・基本的な知識及び技術について詳しく示されて生徒が習得しやすい内容・分量になっている。</p>	<p>○中学生にとっては身近で発達段階に応じた教材が多く、資料を使って見開きにするなど見やすく紹介されている。(p.142～153)</p> <p>○章末の「まとめよう」「生活に生かそう」には、目標に対して学習のゴールが示され、目標に沿った学習内容ごとにまとめができるようになっている。(p.23など)</p>	<p>○作業の説明において、写真・図が大きくわかりやすく、作業順が横に並べてあり、失敗例も掲載されており、作業に対する意欲付けが工夫されている。(p.128, 129)</p> <p>○「プロに聞く！」のコラムや巻末資料「学んだことを社会に生かす」を設け、学習内容と社会との関連が意識できるようにされている。(p.29など, p.282, 283)</p>	<p>○学習初めのガイダンスとして、イラストやチェック表を使用し、学習内容と実生活の関連性をわかりやすく明確に示している。(p.6～17)</p> <p>○「地域の食材」では、しじみが掲載されていて地域性を感じさせる。(p.91)</p>	<p>○調理実習において、「かんたんもう1品」では大きな写真を使用し、実生活の場面でさらに応用できるヒントが掲載されている。(P.69)</p> <p>○巻末に「防災・減災手帳」がついており、とりはずして学習後も日常生活において活用しやすいよう工夫されている。</p>	<p>○二次元コードは、各編の導入ページに掲載され、インターネットを活用して学習が進められるよう工夫されている。(p.107など)</p> <p>○多くのページの欄外に「せいかつメモ」があり、知識が生活に生かされるよう工夫されている。(p.22など)</p>	<p>○自立に必要な基礎的・基本的な事項が身につくように、実習場面では「これだけではできるようになるう！」としてチェックリストが掲載されている。(p.67など)</p> <p>○「生活の課題と実践」では、さまざまな成果物や発表例が示され、生徒が見通しをもって、まとめることができるよう工夫されている(p.272)など、特に優れた教科書である。</p>
C	<p>○内容は、A「家族・家庭生活」のB「衣食住の生活」C「消費生活・環境」順番で構成され、指導要領の順と同じで配慮されている。</p> <p>○基礎的・基本的な知識及び技術について、シンプルに示されていて、生徒が習得する最低限の内容・分量になっている。</p>	<p>○中学生にとっては基礎・基本の定着を図る教材が見やすく紹介されている。(p.140など)</p> <p>○学習の終わりに「ふり返る」場面を設定し、A、B、Cの自己評価と「私の学び」で自分の言葉で振り返るようにしている。(p.31など)</p>	<p>○作業の説明において、作業順が縦横に並べてあり、写真も小さい。(p.187)</p> <p>○調理や製作について、1つの実習題材例を「私のアレンジ」として例が複数記載され、学習意欲が喚起するようにされている。(p.125など)</p>	<p>○学習初めのガイダンスとして「年中行事と私たちの暮らし」で、学習内容と実生活の関連性を明確に示している。(口絵3, 4, 5, 6, 7, p.1)</p> <p>○「私たちの住生活」では、出雲市の築地松の例が掲載されていて、地域性が感じられる。(p.212)</p>	<p>○調理実習において、「組み合わせてつくろう」では、実生活の場面でさらに応用できるヒントが掲載されている。(P.144, 145)</p> <p>○私の成長と家庭分野の学習において、実生活のそれぞれの場面において、考えていかなければいけないことが整理されて記載されている。(p.8, 9, 10, 11)</p>	<p>○二次元コードが複数設けられており、インターネットを活用した参考資料が示されている。(p.27など)</p> <p>○中学生に馴染み深いアニメ作品などを取り上げて、家庭科がより身近なものとして感じられるようにしている。(p.12, 13)</p>	<p>○「私の課題例」を数例取り上げて、身に付けた知識・技能を活用できるように工夫されている。(p.24など)</p> <p>○「生活の課題と実践」では、生活の中から問題を発見し、課題を設定する過程が具体的に示され、生徒が主体的に課題が設定されるよう工夫されている。(p.284～291)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 技術・家庭（家庭分野） 】 2/2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
D	<p>○内容は、A「家族・家庭生活」のB「衣食住の生活」C「消費生活・環境」順番で構成され、指導要領の順と同じ、配慮されている。</p> <p>○基礎的・基本的な知識及び技術について、シンプルに示されていて生徒が習得する最低限の内容・分量になっている。</p>	<p>○中学生にとっては身近で発達段階に応じた教材が紹介されている。(p.188 など)</p> <p>○章末には、「ふり返り」が設けられ、単元ごとの大まかなくくりで自分の言葉で説明するようになっている。(p.25 など)</p>	<p>○作業の説明の写真が、他の説明の写真と同ページに掲載され、小さい。(p.182,183)</p> <p>○「わたしの興味・関心」では、学習前や学習後の興味・関心を記録する欄があり、生徒が興味・関心を自覚できるよう工夫されている。(p.70,71 など)</p>	<p>○学習初めのガイダンスとして「家族・家庭と地域の生活」で、学習内容と実生活の関連性を示している。(p.2,3,4,5)</p> <p>○「住まいのはたらき」では、出雲市の築地松の例が掲載されていて、地域性が感じられる(p.209)</p>	<p>○調理実習において、「あと1品つくってみよう」では、実生活の場面でさらに応用できるヒントが掲載されている。(P.136,137)</p> <p>○章末の「生活にいかそう」というコーナーがあり、それぞれの学習内容ごとに、実生活との関わりをもたせている。(p.25 など)</p>	<p>○実習・製作のページには二次元コードが掲載されており、インターネットを通じて関連する情報がすぐに見られるよう工夫されている。(p.29 など)</p> <p>○多くのページの欄外に「豆知識」があり、知識が生活に生かされるよう工夫されている。(p.16 など)</p>	<p>○科学的根拠に基づいて理解できるように、「調理方法Q&A」でなぜそうするかを解説している。(p.116,117)</p> <p>○「生活の課題と実践」では、生活を見つめることから課題設定をする過程が具体的に紹介されており、生徒が主体的に課題を設定できるよう配慮されている(p.266～277)など、優れた教科書である。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 外国語 】 1 / 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
A	○学年に応じ、計8つの読み物教材があり、図表と合わせて必要な情報を読みとるものや、人物の心情を読みとるものなど、目的に応じた読み方が指導できるように工夫されている。 ○イラストや本文の練習問題などが、A3サイズの大きな紙面で見やすくなっている。	○4技能を使いながら、段階的に新出表現を習得する単元と、学んだことを活かして複数の技能を総合的に活用し表現する Stage Activity から構成されている。 ○1年生の教科書では、小学校の内容を復習しながら中学校の学習へとつなぐ工夫がされている。	○題材に現在の社会に大きな影響を及ぼした偉人の直筆メッセージやスピーチの要約等を取り上げ、生徒の興味・関心を高める内容となっている。 ○学習した題材に関連する情報紹介が随所があり、生徒が文化や歴史、社会問題等にも目を向けられるよう工夫されている。	○各ページの新出語句の下に小学校の学習でふれた単語が掲載されるとともに、巻末には一覧表もあり、小中の学びの接続に配慮されている。 ○各学年の「学び方コーナー」で単語の覚え方や英語学習法に関するアドバイスが掲載されており、生徒が自ら学習を進めることができるよう工夫されている。	○家庭科、理科、社会科の知識を利用して取り組む「Learning ~ in English」や俳句をテーマとした単元を設定するなど、教科横断的な学びができるよう工夫してある。 ○目的や場面に合わせて各技能を活用する Let's シリーズで、日常生活に即した英語表現の習得ができるよう工夫されている。	○各単元の Preview では、コミュニケーションの目的、状況を確認できるよう工夫されている。 ○第2線と第3線の幅をやや広げて、文字の書きやすさに配慮されている。	○4技能5領域を統合的に扱い、学習の定着を図るための丁寧な指示や例があり、生徒が取り組みやすくなるよう工夫されている点が特に優れている。 ○小学校で学んだ単語の掲載及び高等学校との目標のつながりや、他教科と関連付けた内容など、多岐にわたり配慮されている点が特に優れている。
D	○2・3年用に計5つの読み物教材があり、インソップ寓話、国語科で扱われている物語や人物の信条についての話が扱われている。	○本文内容を自分の言葉で再話する Retell、自己表現活動 Interact 等が毎単元に、また総合的な力を試す活動 Our Project が年間2、3回設定されている。 ○1年生の入門期に小学校の既習事項を使って新しい友達とやり取りできるページが設定されている。	○各単元の冒頭で、新出表現の使用場面を2コマ漫画で分かりやすくまとめた Scenes がある。 ○各単元の扉には、題材に関係するページ一面の写真、内容を想起する問い、単元の目標が掲載されており、生徒が見通しを持って学習をスタートできる。	○単元末に本文内容を自分の言葉で再話する Retell が設定されており、生徒の発信力向上と既習事項の定着を促す工夫がされている。 ○各単元の本文ページの下に、音読練習回数チェック欄が設けてあり、生徒は自分の取組を振り返りながら主体的に学習できる。	○各単元に社会問題を反映した幅広いテーマがあり、生徒が世の中の問題について考える契機となるよう配慮されている。 ○Power-up では複数の技能を合わせた活動が設定してあり、実践的に英語を活用できるよう工夫されている。	○各学年巻末資料としてアクションカードがあり、一般動詞の定着のために活用できるよう工夫されている。	○単元の導入に、2コマ漫画を用いたり、各単元に様々な分野のテーマを設定したりするなど、生徒が興味をもって学習できるよう配慮されている点が優れている。

選 定 に 必 要 な 資 料

【 外国語 】 2 / 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
F	○学年ごとに 198～473語の6つの読み物教材があり、日本のとんち話や欧州のベストセラーなど時代を超えた多くの名作が掲載されている。	○各単元は基礎を身につける Get と活用する Use の二部構成で、また複数の技能を合わせた活動Projectが各学年3回ずつ設定されている。 ○1年生の入門期に、小学校時に学習した単語の表示があり、小中の学びがつながるように工夫されている。	○各単元の扉に、題材に関する写真と発問が掲載されており、生徒を学習に引き込む工夫がされている。 ○READING FOR FUN では、世界の名作を扱い、内容を楽しみながら、読む力が高まるよう工夫されている。	○各学年Use Readには、目的に応じた読み方ができるように、複数の活動が設定されている。 ○辞書の引き方、単語の覚え方や授業外での英語学習法など、自分で学習を進めるためのアドバイス For Self-study が設けられている。	○車椅子バスケットや公民権運動の歴史、日本及び他国の文化など、生徒の人間性を涵養する題材が多く配置されている。 ○日常生活で役立つ英語をまとめた「会話表現」には、場面や目的に応じた表現が分かりやすくまとめてある。	○付録には発音や読み物教材の補足映像などもある。 ○ワードリストなど表現活動に役立つ資料が付録に掲載されている。	○幅広いテーマの本文と世界の名作の読み物教材、世界の偉人が残したメッセージなど生徒が興味を持って学習できる工夫がされている。 ○学期に1回のProjectは各技能・領域をバランスよく育成できるように工夫されている。
G	○学年ごとに 201～496語の8つの読み物教材があり、学年に応じて量や難易度を考え、掲載されている。	○各単元の多くに本文の内容要約、複数の技能を合わせた活動、文法整理が設定されている。またプレゼンテーション活動として、Projectが年2、3回設定されている。 ○1年時前半は小中の学びの接続を意識した構成となっている。	○表紙裏には写真と問いかける文が掲載され、生徒の興味を引くように工夫されている。 ○題材として、海外だけでなく、日本の都道府県が複数取り上げられ、身近な地域の社会問題が考えられるように工夫されている。	○即興で話す活動に役立つ Activities Plus が各学年巻末にあり、帯活動等で活動できるよう工夫されている。 ○効果的な英語学習方法を先輩からのアドバイスという形で掲載されたHow to Studyが各学年1回ずつあり、生徒の主体的な学びを支援する工夫がされている。	○食品ロスや慈善活動等の社会問題等を英語学習を通して生徒が社会に目を向けられるように配慮されている。 ○Tips では場面や目的に応じた技能を試す活動や、よりよく会話をするためのポイントを探る活動など、実際に英語が使えるよう工夫されている。	○各学年巻末資料にはTipsやActivities Plusで活用できる単語やフレーズのカードが付いている。	○世界的な社会問題から日本の地方の話題まで幅広いテーマが設定され、生徒が興味を持って学習できるよう配慮されている。

選 定 に 必 要 な 資 料

【 外国語 】 3 / 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
I	<p>○内容は、生徒の日常生活、学校生活、A Iや防災といった社会的な話題がある。</p> <p>○学年に応じて、52～517語の計8つの読み物教材がある。2・3年生には、400～500語の分量である。</p>	<p>○複数の単元の後にあるYou Can Do It!では、それまでの単元で学習した文法等を活用できる複数の技能を統合した言語活動が設定されている。</p> <p>○1年生では、小学校の内容を復習するLet's Be Friends!があり、各学年には、学習の方法がまとめられた「学習の学びガイド」が設定されている。</p>	<p>○Let's Read では、世界のトップを走り続ける日本人アスリートへのインタビューが掲載され、中学生へのメッセージも含まれており、生徒の興味・関心を高める内容となっている。</p> <p>○各単元のストーリーは、登場人物が様々な体験や交流を通して成長していく、共感しやすい内容である。</p>	<p>○即興でやり取りする際に使える表現がまとめられたLet's Talkが各学年で掲載されており、授業の帯活動等で活用できるようになっている。</p> <p>○各学年のはじめに「学習の学び方ガイド」、要所に「Your Coach」があり、学習上のポイントなどがまとめられており、生徒の主体的な学びを支える工夫がある。</p>	<p>○A Iや防災など、様々な社会的な話題をテーマにした単元があり、英語学習を通して生徒が社会問題について考えることができるように工夫されている。</p> <p>○日常生活の場面で役に立つ表現に特化したDaily Lifeには、目的に応じた用途で各技能を高める活動が準備されている。</p>	<p>○巻末にActive Wordsとして、様々なジャンルの単語や場面ごとに使えるフレーズがまとめられている。</p>	<p>○各単元の話を予想したり、大まかな内容をつかんだりするために音声から文字に移行する構成となっており、学習がスムーズに流れていく。また、学校生活や日常の話題が多く、生徒が興味をもって学習できるように工夫されている点に優れている。</p>
L	<p>○学年に応じて、98～463語の計5つの読み物教材がある。1年生には、ユーモアのあるものが、2・3年生には、人物の心情や信念を読み取るものがある。</p>	<p>○各単元末に、テーマに沿った自己表現活動と本文内容の補足資料がある。また、各学年にProject活動が設定されており、技能統合型の学習に取り組めるようになっている。</p> <p>○1年生のはじめに、小学校の内容の振り返りや小学校の思い出と中学校で行いたいことを発表し合う活動Let's Startがある。</p>	<p>○単元末にMore Informationとして、単元で扱った内容に対する補足情報や追加情報を紹介し、生徒の興味・関心が高まるように工夫されている。</p>	<p>○2・3年生では単元末にExpress Yourselfが設定され、テーマに沿った短い文章を作り、グループで話し合い、生徒の表現力や発信力を高める活動が設定されている。</p> <p>○要所に「Targetのまとめ」があり、新出文法事項のまとめと練習問題が掲載されており、生徒が自らの学習を振り返る工夫がされている。</p>	<p>○動物との共生や地域活性化など社会的な話題が多数あり、生徒が身近な社会問題について考えるような設定になっている。</p> <p>○「こんなときどうなの?」、「数の読み方」など、日常会話でよく使う英語表現がわかりやすくコンパクトにまとめられている。</p>	<p>○巻末付録に発音とづぶりのルールが解説されている。</p>	<p>○将来の夢や身近な地域の活動が題材として取り上げられ、内容を自分のこととしてとらえられるような工夫がある。</p> <p>○題材として漫画やアニメなど生徒が取り組みやすいものや、地域活性化や海外文化など、身の回りの社会や国際社会に目を向けられるような内容を扱っている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 特別の教科 道徳 】 1 / 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
A	<p>○各学年の発達段階に応じて文章の難易度や分量など、適切な内容となっている。</p> <p>○35 時間分の教材とは別に、付録として5時間分の教材が用意されており、実態に応じて取り組めるような工夫が見られる。</p>	<p>○物語だけでなく、新聞の投書欄などが掲載されており、多面的多角的に考えられるようになっている。</p> <p>○教材の冒頭に、ねらいとなる内容項目に関連したテーマを示しており、見通しをもって学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○漫画のコマや登場人物の絵を掲載し、興味・関心を高めるとともに、学習のイメージをもてるよう工夫されている。</p> <p>○全学年に役割演技や体験的な学習をとおして、考えを深められるよう「Action!」が設定されている。</p>	<p>○いじめに関する物語資料や「いじめサミット」など、いじめについて重点的に考えられるような構成となっている。</p> <p>○全学年で「情報モラルと友情」をテーマとした教材があり、今日的な課題についてとりあげられている。</p>	<p>○全学年の巻末付録に「テーマで振り返ろう」が設けられ、道徳科と各教育活動との関連が捉えやすくなっている。</p> <p>○全学年に勤労の貴さや将来の仕事について考える教材があり、キャリア教育との関連を図る工夫が見られる。</p>	<p>○思考を可視化し話し合い活動を活発にするための授業支援ツール（心情円、ホワイトボード用紙）が巻末付録に用意されている。</p> <p>○AB 版サイズのゆとりのある紙面となっているが、生徒が管理しにくい面がある。</p>	<p>○読み物以外の資料も多く、多面的に考えることができる。</p> <p>○各教材末の「考えよう」「自分を見つめよう」「自分を見つめよう」では、それぞれに1つずつ問いが設定されており、教材の内容と実生活の両面から思考を深められるよう工夫されているという点で優れている。</p>
G	<p>○30 時間分の教材と5時間分の補充教材で、合計35時間分の教材が用意されており、学校の実態に応じて柔軟に対応できるようになっている。</p> <p>○全学年の巻頭には、道徳の授業についてのオリエンテーションがあり、学習の流れが捉えやすくなっている。</p>	<p>○教材名の下に、導入となる問いが示され、教材を通してどんなことを考えていくのか意識付けられるよう工夫されている。（1年 p. 34）</p> <p>○「部活動」「3年生を送る会」など、学校行事や体験活動と連携を図ることができるよう教材が配列されている。（2年 p. 14, 146）</p>	<p>○「ハゲワシと少女」のように、インパクトのある写真を掲載されることが多く、生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。（3年 p. 56）</p> <p>○社会に貢献してきた人物や各界で現在も活躍している著名人が多く教材に取り上げられ、生徒の興味・関心を引くように工夫されている。</p>	<p>○SNS、歩きスマホなど、今日的な課題として、生徒が身近に感じる題材を取り上げ、自分ごととして考えられる教材となっている。</p> <p>○全学年巻末に「資料都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」があり、視野を広げ、我が国を愛する態度へとつながっていく工夫が見られる。</p>	<p>○各教材末の「学びの道しるべ」には3つの問いが示され、教材内容だけでなく生徒自身への問いかけもあり、実生活を振り返ることができる。</p> <p>○ジェンダーなど、今日的な課題に対応しており、多面的多角的に物事を考えられるような工夫が見られる。</p>	<p>○文章の行間が空いていること、行の目盛りがついていること、2段構成で書かれている資料などがあり、読みやすい工夫が見られる。</p> <p>○1 年生前半の教材では、文字を大きくし、発達段階に応じた文章となっている。</p>	<p>○巻末に1時間ごとの学習を記録する欄や、学期末・学年末に学びを振り返る切り取り可能なページが用意されている。</p> <p>○各教材末の「学びの道しるべ」には3つの問いが示されており、教材の内容に関するものから、スモールステップで自分のことも振り返られるようになっている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 特別の教科 道徳 】 2 / 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
I	<p>○生徒にとって読みやすく、理解しやすい資料が多く、各学年の発達段階に適した配置となっている。</p> <p>○巻頭には「道徳の授業を始めよう！」が、巻末には「道徳の学びを振り返ろう」が設定され、自分自身の学びの軌跡も確認出来るようになっている。(1年 p. 6, 160)</p>	<p>○それぞれの学年の特徴をつかみ、成長の段階に合わせた教材配列となっている。(1年生「自分で決める」→「感謝へ」(3年生後半では卒業を意識した資料構成)</p> <p>○年間を3つのシーズンに区切り、学びのテーマが設定されている。</p>	<p>○全学年でヨシタケシンスケさんの絵本「なんだろうなんだろう」や、有名人直筆のメッセージを掲載し、生徒の興味を引く工夫がされている。</p> <p>○生徒にとって親しみやすいイラストや漫画、写真などが多く使われている。</p>	<p>○1年生「異文化の人々と共に生きる」では、具体的な場面を取りあげて、自分ごととして考えやすい工夫がしてある。(1年 p. 117)</p> <p>○全学年に「人と人との関係づくり」を設定し、他者とよりよく関わるスキルを学ぶことができるよう工夫されている。</p>	<p>○各教材の「考えよう」では、2つの発問があり、そのうちの一つは実生活につながる発問となっている。</p> <p>○巻末の「教材別テーマ一覧」「この教科書が目ざした1年生の姿」により、道徳科と現代的な課題や各教科等との関わりを捉えられるようになっている。(1年 p. 180, 181, 184)</p>	<p>○教科書に直接書き込めるスペースが多く用意されており、生徒自身が主体的に考えられる工夫が見られる。</p> <p>○教材配列の「ユニット」化により複数の教材が有機的に結びつき、重点的かつ効果的に学べるよう工夫されている。</p>	<p>○巻末に1時間ごとの学習を記録する欄、学期末・学年末に学びを振り返る切り取り可能なページが用意されている。</p> <p>○各教材末の「見方を変えて」で多面的多角的に考えられるよう工夫されているという点で優れている。</p>
O	<p>○巻頭のオリエンテーションのページには、道徳科の学習意義や内容、学び方やテーマが掲載され、授業の流れや1年間の見通しが捉えやすいように工夫されている。</p> <p>○1年生では、絵や漫画、イラストを交え、理解しやすい教材となっている。学年が上がるにつれ文章量が増え、補足説明が必要な教材もある。</p>	<p>○教材の配列が、「個人の目標」や「いじめの問題」から、「友情や集団生活」、「よりよい社会や将来の自分を考える」など、個人から社会へと思考が広がるよう工夫されている。</p> <p>○1年間の学校行事や生徒の発達段階を踏まえて、適切な時期に適切な教材を扱うことができるように構成されている。</p>	<p>○「プラットフォーム」「参考」「私の生き方」というコラムが適宜配置され、興味・関心を引くとともに、教材の理解を助けるものになっている。</p> <p>○「命について」「先人の伝記」「スポーツ」「情報化への対応」「いじめの問題」など、恒久的なテーマから現代的な課題など、多様な資料で生徒の興味関心を引く工夫が見られる。</p>	<p>○複数の教材とコラムを組合わせたユニット「『いじめ』と向き合う」が年間に複数配置され、差別をなくし、平等・思いやりの精神を培えるよう集中的かつ継続的に考えられるよう工夫されている。</p> <p>○「話し合い活動」のページが複数あり、生徒同士で考え、議論する道徳のイメージがわきやすく、実践しやすいものとなっている。</p>	<p>○ジェンダーについて1ページを割いて学ぶところがあり、他者理解など、今日的な課題に対応している。(3年 p. 101)</p> <p>○全学年に「よりよい社会と私たち」というテーマでの複数の教材があり、実社会で生きて働く「社会力」を育めるようになっている。</p>	<p>○教材名の上に主題名が、教材名の下に登場人物の写真や絵が掲載され、学習の見通しをもたせ、興味・関心を高める工夫が見られる。</p> <p>○「道徳ノート」には、友達の意見を書く欄があり、他者の意見を参考にしながら多面的多角的に考えられるようになっている。</p>	<p>○別冊「道徳ノート」は教科書本冊に対応しており、発問や自分の考え、振り返りの記入欄があり、1ページに1時間の学びを記録するようになっている。</p> <p>○各教材末にある「自分に+1」でそれぞれの価値項目について自分ごととして考えられるよう工夫されており、特に優れている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 特別の教科 道徳 】 3 / 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫	6 その他	
P	<p>○内容項目のバランス等を考えて35時間分の教材が配列されている。</p> <p>○全体的に読み応えのある資料が多い反面、長い資料が多く、予備知識や補足の説明を必要とするものがある。</p>	<p>○教材に主題名が示されていないことで、自ら課題を見つけ、多面的に考えることができるようになっている。</p> <p>○全学年持続可能な社会と、夢に向かって輝く人に焦点を当てた「ユニット学習」により多面的多角的に考えられるようになっている。</p>	<p>○イラストや写真を使うことでわかりやすく、資料への興味がわくような工夫がある。</p> <p>○目次のあとに内容項目や「人とのかかわり」「社会とのかかわり」など四つの視点について分かりやすくまとめてあり、学習への見通しをもたせ、学習意欲を喚起させる工夫がある。</p>	<p>○「情報モラル」について各学年で取り上げてあり、グラフ資料や新聞などの多様な資料から多角的に考えられるようになっている。</p> <p>○生命にかかわる内容の教材に「いのち」のマークがついており、生命について多面的に捉えられ、いじめの防止にもつながるようになっている。</p>	<p>○全学年「深めよう」を活用することにより、自分事として考えたり、発展的な課題について更に考えたりできるようになっている。</p> <p>○全学年「クローズアップ」には具体的なデータが載っており、実生活とつなげて考えやすくなっている。</p>	<p>○A B版サイズのゆとりのある紙面となっているが、生徒が管理しにくい面がある。</p> <p>○全学年に「マイプロフィール」があり、定期的に自分を振り返られる構成となっている。</p>	<p>○各教材末にねらいに迫る問いはあるが、自分に返す問いが設定されていない教材もある。</p> <p>○巻頭「マイプロフィール」、巻末「心の四季」「学びの記録」により、1年間の成長を自分自身で確かめられるよう配慮されている。</p>
T	<p>○別冊「中学生の道徳ノート」の前半に、各内容項目に関連した資料が1ページずつ掲載され、本冊と合わせて活用することができるよう工夫されている。</p> <p>○発達段階に応じて資料の難易度が変えてあり、文字の大きさも工夫されている。</p>	<p>○教材末の「学習の手がかり」に、主題名や内容項目が示されている教材もあり、見通しをもって学習できるよう工夫されている。</p> <p>○いじめ防止、人権尊重に関わる教材が、重点課題として複数提示され、配当時間が増えるよう設定されている。</p>	<p>○QRコードのついてる教材があり、調べ学習など、発展的な学習に対応している。</p> <p>○各教材の最後に先人や現在活躍している著名人の言葉が掲載され、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。</p>	<p>○3年生では裁判員裁判の資料があり、今日的な課題に対応している。(3年p.142)</p> <p>○全学年の巻末に、「いじめ防止」「情報モラル」「現代的な課題」の特集が設定され、教材と合わせて活用できるよう工夫されている。</p>	<p>○「thinking」が各学年3つずつ掲載され、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。</p> <p>○巻末の「内容一覧」には、各教材と他教科や現代的な課題等との関わりが示され、道徳科との関連を図ることができるよう配慮されている。(1年p.180)</p>	<p>○A B版サイズのゆとりのある紙面となっているが、生徒が管理しにくい面がある。</p> <p>○別冊ノートの「学習の記録」と「学習を振り返って」が同じスペースになっているとよりわかりやすい。</p>	<p>○別冊ノートには、1時間の学習記録、心に残った授業、学期・年間の振り返りを記入する欄があり、成長を確認できるよう工夫されている。</p> <p>○各教材末の「考える・話し合う」では、めあてや教材に関わる問いとともに、考えを広げ、深める視点が示されており、学びを深められるよう工夫されている。</p>